

第四十五回 帝國議會 議院

刑事訴訟法案委員會議錄(速記)第六回

大正十一年二月十七日午前十時四十五分開議
出席委員左ノ如シ

委員長 鵜澤 総明君

理事

清瀬 一郎君

牧野 良三君

齋藤鶴太郎君

横山金太郎君

横山勝太郎君

出席政府委員左ノ如シ

内務次官 山内確三郎君

司法省刑事局長 林頼三郎君

司法省參事官 上林安太郎君

司法書記官 秋山高三郎君

司法事務官 皆川治廣君

宮城長五郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

○鶴澤委員長 是ヨリ刑事訴訟法案ノ委員會ヲ開キマス、
北井君

○北井委員 私ハ大體御尋シタイノニアリマスガ、缺席勝

ト大分質問應答ガ進ンデ居リマスカラ、大抵御尋ニナッタコ

トグラウト思ヒマスガ、併シアツサリ伺ヒマスカラ、要旨

ダケデモ政府委員カラ仰答ヲ願ヒタインデアリマス、先づ

此起訴ニ關スル事デアリマスガ、疾クカラ御尋ガアツタデア

ラウト思ヒマスガ、要旨ハ斯ウ云フ事デアリマス、起訴ニ關

シテ二點伺ヒマス、起訴ハ檢事万能主義ヲ採ラレテ、檢事ノ

ミガスルト云フコトニナリマスノハ、詰リ現行法ト同ジ事

デアリマスガ、被害者又ハ辯護士ニ此起訴權ヲ與ヘルコト

ハドウデアルカ、是ガ質問ノ要旨デアリマス、ソレカラ第二

ニハ今回ノ規則ニ依リマスト云フ「犯人ノ性格、年齢及境

遇並犯罪ノ情狀及犯罪後ノ情況ニ因リ訴追ヲ必要トセサル

トキハ公訴ヲ提起セサルコトヲ得」トスウ廣クシテアリマ

ス、何カ之ニ付キマシテハ、相當ナ標準ナリ理由山ガアルカ之

ヲ要領ダケ承リタイ、一應質問ノ趣意ヲ釋明シテ置キマス

ガ、起訴ハ檢事ガ行フ原則ハ尤デゴザイマスガ、ソレ

ニ依リマシテ、今回ノ二百八十一條ト相俟テノ質問デアリ

カラ見レバ微罪不檢舉デアル、是ハ何デモナイト見マスケ

レドモ、被害者ノ側カラ見タラサウデナリ事モアル、檢事カ

ラ見レバ、是ハ或ハ起訴セヌデモ宜イト思フ事デモ、社會一

般カラ見ルト、何故起訴ヲセヌダラウト云フコトニナル、斯

モナイダラウ、我慢セヨト云フコトニナルガ、一方カラ見ル

トサウデナイ、之ヲ檢事万能主義デ以テ段々範圍ガ廣クナ

ルコトハ、隨分被害者カラ見タラドウダラウカ、外國ノ例カ

ラ見テモ、被害者ガ起訴スル権利ガアルヤウニ承ヌテ居ル、

ソレカラ被害ト云フモノハ直接ナイケレドモ、世ノ注意ヲ

惹イタ重要ナル事件、例ヲ以テ言ヘバ今回ノ滿鐵事件、阿片

事件、或ハ戊戌會社ノ如キ、檢事ハ或一部ヲ起訴セヌトカ、

居ル例ヘバ國打ヲ受ケテ居ル、檢事ハオ前痛クモナイ何デ

モナイダラウ、我慢セヨト云フコトニナルガ、一方カラ見ル

トサウデナイ、之ヲ檢事万能主義デ以テ段々範圍ガ廣クナ

ルコトハ、隨分被害者カラ見タラドウダラウカ、外國ノ例カ

ラ見テモ、被害者ガ起訴スル権利ガアルヤウニ承ヌテ居ル、

ソレカラ被害ト云フモノハ直接ナイケレドモ、世ノ注意ヲ

惹イタ重要ナル事件、例ヲ以テ言ヘバ今回ノ滿鐵事件、阿片

事件、或ハ戊戌會社ノ如キ、檢事ハ或一部ヲ起訴セヌトカ、

ノ弊害デアルトハ政府ハ信ジテ居リマセヌ、又物議ヲ起サ

○北井委員 檢事ガ公訴權ヲ有ツノガ適當デ、被害者ニ之ヲ與ヘルト濫訴ノ弊ガアルトハ一方ノ理由テアリマスガ、私ハ時代ノ進運ト共ニ、被害者ガ自分ガ害ヲ受ケテモ、其救濟ヲ裁判所ニ訴ヘルコトガ出來ヌ、公平ト見ラレル檢事ダケノ判断ダケデヤラズニ、被害者ニモ或ル時機ニ於テ公訴權ヲ與ヘル事ハ必要ト思ヒマスガ、次ニ斯ウ云フ事ヲ承テ見タイ、此法ガ實行サレマスト、何トカ是ガ標準トカ、例トカ、具體的ノモノヲ地方裁判所ノ檢事正トカ、區裁判所ノ檢事等ニ通達ナリ、訓示ナリ、サレテ、統一サレル御方針デアリマスカ、若シサウ云フ方法ガアレバ承テ置キタイ、ドノ程度ハドンナ風ニスルカト云フヤウナ事ハ若シサウシマセヌト此通りヤツテ行クト、全國ニハ裁判所ガ隨分澤山アリマスカラ、此所デハ起訴シタガ彼所デハ起訴セヌト云フヤウナコトガ出來テ、裁判所ト云フモノハ偏頗ナモノデアル、不公平ナモノデアル、同ジ法律ヲ執行スルニモ、斯様ニ違テ居ルト云フヤウナコトガ起ツテ來ルト思フ矢張、裁判權ナル、檢事ノ公訴權ノ威信信用ニ關スルト思フ、起訴スルカト又カ、罪ニスルカセヌカト云フコトハ、隨分大キナ問題デアリマス、唯々犯人ノ年齢ト云フコトハ、ハフキリシテ居リマスガ、其他性格等ハ見様デドウデモ見エル、一ノ事件ガ起レバ、土地ノ人が懲願ニ行クヤウナコトガアッテ、不起訴ニナルコトモ多々カ、罪ニスルコトガドウカト思ヒマスガ、此點ニ付テ司法當局ニドウ云フ御覺悟ガアリマスカ伺ヒマス
○秋山政府委員 司法當局トシテハ、行政監督上絶エズ此種ノ處分ノ當否ヲ注意シテ居リマシテ、其間若シ統一的ノ訓令ヲ發スル必要ヲ認ムレバ、其處置ニ出ヅルノデアリマスガ、不起訴ノ標準ヲ統一的ニ定メル事ハ不可能デアリマスシテ、必シモ申裁判所ニ於テ起訴サレタ同ジ程度ノ事件ガ、乙裁判所ニ於テ不起訴ニナルコトハナイト限ラナイ、又乱处置ニ出ヅルコトガ出來マスガ、目的方客觀ノ上ニ在リマスレバ、其犯罪ノアッタ場所ノ状況ニ依ッテ、一方デ不起訴ノモノモ、他方デ起訴スルノガ相當ノ場合モ生ズルノデアリマスカラ、之ヲ劃一的ニ定ムルコトハ困難デアリマス、犯人ノ性格ニ依リ、場合ニ依ッテ不起訴ニスル事情ノアルコトハ、何人モ認メナケレバナラヌト思ヒマス、然ラバ所謂其犯人ノ性格ヲドウ定メレバ宜イカト云フト、之ヲ定ムルコト

○北井委員　百二十三條ニ依テ今回ハ検事ガ勾引狀ヲ發スルノミナラズ、司法警察官モ發スル規定ニナツテ居リマス、而シテ私ノ質問ノ要旨ハ、司法警察官ガ之ヲ發スルノ必要アルカ否ヤ、是ハ取ツテハ何カ差支ガアルカト云フコトヲ聽キタインデス、屢々人權蹂躪ノ聲ヲ聞キマスカ、檢事若クハ豫審判事ニ付テハ斯ウ云フ事ハ稀デアリマス、常ニアルノハ警察官デアリマス、資力モ無ク地位モ無イ人民ハ泣寢ニ持ツテ來ル、檢事モ亦之ヲ認メル事ニナリマスカラ、警察入ヲシテ居リマスガ、警察官ノ爲ニ人權ヲ蹂躪サル、者ガ隨分アルノデス、私ノ實驗カラ見マスルト、巡査ガ何カ持ツテ來ル、サウスルト其長官ノ警部ハ大抵之ヲ認メル、次ニ檢事ニ持ツテ來ル、檢事モ亦之ヲ認メル事ニナリマスカラ、警察官方勾引狀ヲ發スルト云フノハ、其實巡査ガ發スルコトニナル、本案ノ如ク起訴前ノ搜査トシテ、今迄ノ豫審處分が出來ルコトニナルト、是ハ便宜カ知リマセヌガ、隨分危險デアリ、強盜事件ハ勾引ガ出來ルトナツテ居リマスガ、現行犯ナラバイザ知ラズ、之ヲ勾引スルコトガ出來ルト云フ規定妨害ト云フ名義デ勾留十日カ二十日ニ處スル、斯ウ云フ譯ニナツテ居ルノデ、重大事件ガ起ルト、先づ前科者ヲ調べテイカト思ヒマス、東京市ノ各警察署デハ隨分人、權蹂躪ヲヤッテ居ル、何カアレバ家ノ内カラ連レテ來テ留メテ置ク、道路餘程注意ヲシナイト、思想界ニ害ヲ及ボスト思フノデアリスガ、今回現行犯以外ニ於テモ、警察官モ勾引狀ヲ發スルコマトガ出來、又裁判所ノ命令デ勾留狀ヲ發ル事ガ出來ル、勾警察署ニ引揚ゲテ來ル、其ハ人權擁護ノ聲ガ盛ニナツタ今日引ト云ヒ、勾留ト云ヒ、人民ノ自由ヲ束縛スルコトナルモノデアル、是ハ甚ダ不安ナ話ト思ヒマスガ、要スルニ是ハドウデモ讀ヌル、一カラ六マデハ過日モ仰シヤッタヤウニ、見様ニ依レバ悉ク何時デモ引張ツテ來ル、巡查ガ引張ツテ來レバ、直グニ勾引狀ヲ出ス、之ヲ檢事位ニ止メルト云フヤウナ事ニスルト、何カ御差支ガアルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○秋山政府委員　百二十三條ノ御質問ハ前ニモ一二アリマシタノデス、尙ホ御答ヲ致シマスルガ、此第二號、三號、四號、五號ハ、殆ド現行法ト見テモ宜イモノデアリマス、其點ニ於テハ現行法ト變ル所ガ無イト云テモ宜イ、第一號ハ全ク是ハ浮浪者デ、六號ニ泥坊デアリマス、泥坊ト浮浪者ト云フモ程十數年以前ニハ隨分サウ云フ事ガ行ハレタノデアリマシノダケハ、餘程機敏ノ處置ガ執レマセヌケレバ、良民ノ保護ガ致セナクナル次第デアリマス、御話ノ警察デ即決處分ノ勾留ヲ犯罪ノ搜査ニ利用シテ、人權ヲ蹂躪スルト云フ事、成程十數年以前ニハ隨分サウ云フ事ガ行ハレタノデアリマシ

テ、私共モ職務上自擊シテ居タ事實デアリマスガ、今日デハ之ガ犯罪捜査ニ利用セラル、ト云フヤウナ事ハ、殆ト無クナッテ居ルト思ヒマス、私方裁判所ノ上席檢事ノ在職中ニ、極メテ稀ニサウ云フ例ヲ見受ケマシタ、大曆ヤカマシクハレテ居ラヌト思ヒマス、併ナガラ實際ノ例ヲ見マスト、非現行犯デ、一人ノ泥坊ガ捕マーテ、贓物ガ山ノ如クニアル、之タコトガアルノデス、一切即決處分ヲ犯罪捜査ニ利用スルヤウナ事ヲシテハナラヌト——今日デハ左様ナ事ハ全然行シテドウ此救濟ヲ圖ッテヤルガ宜シイカ、ドウシテ此全體ノ記録ヲ整ヘテ裁判所ニ送置スルコトガ出來ルカ、ドウモ或ル時間ヲ要スルノデアリマス、泥棒ト浮浪者ト云フ者ダケハ、特別ノ取扱ヲ致シマシテモ、左迄良民ノ権利ガ害セラルルコトデナシ、ソレデ始メテ良民ノ権利ガ保護セラレルノデアラウト云フ考ヲ以チマシテ、此案ヲ立テマシタ次第デアリマス

ガ時々ナイトハ云ヘヌ、忌避ナルモノハ裁判ニ對スル一ツノ警戒線デアルト思ヒマス、之ヲ辯護士カラ取テシマッテ、後ニ於キマスル忌避スルコトヲ却下スルト云フ大ナル制限ヲ加ヘタ、此制限スラモ私共ハ甚ダ快ラズ思テ居リマスガ、全然辯護人ノ忌避權ヲ取テシマッテ、被告ノ代理トシテヤル、被告人ノ意思ニ反シテハ出來ナイ、被告人トシテハサウ云フ事ハ出來ナイコトデアル、實際ニ於テ被告人ノ位置ト裁判官トノ間ニ於テ、是ハ無理ナ事アリマスガ、之ヲ入レテハドレ程ノ差支ガアルカト云フコトヲ承リタイ〇林政府委員 途中カラ承タノデ、若シ誤解シテ居リマシタラ更ニ御尋テ願ヒマス〇鶴澤委員長 斯ウ云フノデス、前回ノ御答辯デハ、被告人ノ代理ヲスルカラ忌避方出來ルト云フコトヲ承リタイモソレデハ不満足デアル、辯護人ニ獨立シテ忌避權ヲ與ヘナイカト云フノデス

○林政府委員(續) 辯護人ノ忌避權ニ付キマシテハ、調査委員會ニ於キマシテモ、段々論ガアリマシタ、忌避權ハ獨立權トシテ認メタ方ガ宜シト云フ主張ガアリマシタ、又代理權デ宜シト云フ主張モアリマシテ、段々討議ヲ致シマシタ結果、本案ノ如ク定メラレマシタ次第アリマス、本案ニ於キマシテハ、忌避權ハ代理權デ宜シ、斯ウ云フ趣意ニシテ居リマス、詰リ實際ノ方法カラ考ヘマシテ、辯護人ガ相當ノ理由ニ於テ忌避ラセントスル場合ニ、被告人ガ之ニ反対スルト云フコトハアルマイ、代理權トシテ忌避權ヲ認メテモ差支モアルマイト、斯ウ云フ考デアリマス、此案ヲ確定シマシタノハ其論ヲ採ッタ次第アリマス〇北井委員 林刑事局長ハ裁判所ニ居ラレテ、事件等ヲ澤山御坂ニナッテ居リマスカラ、裁判所ノ方面ノ事ハ能ク御分リデゴザイマセウガ、若シ辯護人ヲ一年ナリオヤリニアマダナラバ、今ノヤウナ御言葉ハ無イト思フ、此忌避其者ニ付テハ、全ク吾々ト觀察ヲ異ニシテ居リマス、此事ハ多分他ノ人カラ御尋ガ無カッタラウト思ヒマスカラ、十分ナル考慮ヲ煩シテ裁キタイト思ヒマス、吾々之ニ付テハ絶對ニ服スルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレカラモウ一つ是ソレガ明治三十二年ニ其内容ヲ示ス一部ノ改正デアッテ、今日ニ及シテ居ル、今度ノ改正ニ付テモ、是ハ餘程議論ガアッタラウト思フ、裁判所側ノ人ニハ之ヲ取テシマッテ、舊ノ如クニ單純ニ證人誰某、鑑定人誰某、法律ノ適用、是ダケニシテ貨ヒタイト云フ意見ガアルヤウデアリマスガ、私共ハ

此規定ハ最モ必要グラウト思フ、此規定ガ必要ナルノミナラズ、證據ノ内容ヲ示スノミナラズ、モット進ンデ被告人、辯護人ノ論争シタ論點マデ説明シテ貰ヒタイ、若シモ前ノ如クニ判決ノ書方ヲ改正シテ、證據ノ内容モ示サズニ宜イト云フナラバ、判決ノ理由ハ分ラナクナル、オ前ハ何處其處デ窃盜ヲシタ、被害人ノ告訴狀ニ依ッテ明カグ、法律何條ヲ適用スルト云フダケデハ、判決ノ理由ガ全ク分ラナイ、唯タ標題ダケ竝ベタノデハ判決ノ理由ニナラヌ、記録ヲ見レバ分別云トカモ知レヌガ、御承知ノ通り記録ハ懸カ五年カソコラノ保存期限デス、判決ハ永久ニ保存スル、昔カラ外國デモ日本デモ大切ニシテ、厚イ紙ニ書イテ保存シタモノデス、其位重大ナ判決デアリマスカラ、之ヲ戴イタ人ガ之ニ依ッテ總テノ事ガ分シテ、始メテ有難味ガアルオ前ハ泥棒ヲシタ、是ダケシカ書イテナイト、證據ノ内容ヲ知ル爲ニ、調書ヲ見ナケレバナラムト云フコトニナル、ソレガ爲ニ一部ノ改正ヲシテ、證據ノ内容ヲ示スヤサニナクタ、是ハ無駄ナヤウデアリマスケレドモ、判決ト云フモノハ是ダケノ事ガアルカラ、事實ノ認定ハ仕方ガナイト云フコトヲ、第三者ガ見テモ、誰ガ見テモ分ルヤウニシナケレバナラヌ、吾々ハ尙ホ進ンデ被告人ノ抗辯辯護士ノ論争マデモ、大要ヲ判決書ニ書イテ貰ヒタ位ニ思フ、私共實驗上カラ見マシテ、書クノモウルサイシ、記録ヲ見ルノモエライデセウガ、其代リ判決ハ十分ナモノニナル、或ハ政府ハ斯ウ云フ規定ガ無クテモ、記錄ヲ見ズニ判決ハセヌト言フカモ知レヌ、一應御尤デアリマスケレドモ、實際ニ於テハ主任ガ見ルダケデ、他ノ者ハ見スト云フノガ實際ノ事務ノ遣方デアル、單ニ標題ヲ掲タルノトハ、記録ヲ調べル時ノ頭方達フ、之ヲ嚴重ニ引抜イテ要所ヲ書クト云フノデ、裁判官ガ非常ニ注意シテ目ヲ通スコトニナル、即チ熱心ノ度ガ違ア、標題ヲ掲ゲルダケデ宜イトナルト、澤山ノ判事デスカラ、或ハ判決ノ書方ガゾンザイニナラストモ限ラヌ事件ノ爲ニ甚ダ忌ムベキ事ヲ生ズルコトニナル、實體カラ見テモ形式カラ見テモ、判決書ニ依テモノニ付テハ、特ニ判斷ヲ示セト云フコトニナッテ居ルノデ書タコトヲ原則トスル、サウ云フ次第アリマスカラ、犯罪ノ成立ヲ阻却スル原因、或ハ刑ノ加重減免ノ事柄ニ付テ、被告人又ハ辯護人カラ申立タ事ニ付テハ、必ズ之ガ判斷ヲ記セト云フコトニナッテ居ル、併シ被告人ノ抗辯ニハ、一見シテ理由ノ無イコトガ明カデアルコトモアリマス、ソレヲ一々書クト云フコドハ煩ニ堪ヘナイカラ、抗辯ノ中重要なモノニ付テハ、特ニ判斷ヲ示セト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、唯タ區裁判所ニ於テ比較的輕微な問題、是ハ法律デ比較的輕微な問題ト認メテモ、本人ニ取テハ非常ニ重大ナ事モアリマスガ、併シ一樣ニ原則的ノ鄭重ナル手續ヲ採ルト云フコトハ、今日ノ實際ノ上ニ於テ行ハレ難い事デアリマスカラ、ソコデ斯ウ云フ區別ヲ立テタノデアリマスガ、モ書イテ馬鹿々々シタ伊事件ガアリマス、全ク其必要性ト云フコトヲ宜シイ云フコトニナレバ、非常ニ裁判上ノ繁雜ヲ省クコトガ出來ルノデアリマスカラ、其餘力ヲ抱ノ場合ニ用牛テ鄭重ニスルト云フコトハ、是ハ餘程参考トスベキ御意見デアラウト考ヘマス、政府ニ於テ十分考慮スルノハ勿論デアリマス、併シ本案ノ趣意ハ今申シタヤウナ事アリマスカラ、區裁判所ノ事件デモ地方裁判所ノ事件デモ、被告人ノ自白ガ明瞭デ、其必要ノ無イ事件、控訴モシナシナイ、

ドウモ昨日ノ出發點ノ第一第二ノ問題ハ、意見ノ相違ト云
ファウナ風ニ最後ニナッタノデアリマスガ、マダウモ意見
ノ本當ノ相違、即チ喰達ノ點が能ク私ニハ諒解シテ居ナイ
ノデアリマスガ、此問題ニ牽連シテ、モウ一應御尋ヲシテ置
キタイト思フノデアリマス、私ノ申上ゲタ此刑事訴訟ノ歴
史、現今ノ立法ノ趨勢ニ關シテハ、言フマデモナク彈劾主義
糾問主義ノ跡ガアツテ、各國共ニ彈劾主義ハ刑事訴訟ノ理想
手續デアル、斯ウ云フ風ニ見ラレテ居ルノデアリマスガ、是
ハ言フマデモナイ事デアリマスガ、其彈劾主義ト云ヒ糾問主
義ト云ヒ、是ノ見方ガ遠ツテハ是コソ意見ノ相違ノアル所デ
アリマスガ、私ノ見ル所ニ依レバ彈劾主義ト云ヒ、糾問主義
ト云ヒ、是ハ唯ダ獨リ公判手續ノ問題ダケデハナイヤウ考
ヘテ居ルノデアリマス、狹キ意味ニ於テハ、固ヨリ公判手續
ノ問題タルニ相違ナイ、併ナガラ刑事訴訟ノ大體ノ主義カ
ラ云ヘバ、彈劾主義糾問主義ナルモノハ、矢張訴訟手續ガ開
始セラレル檢事ノ、若クハ司法警察官ノ訴訟行為ヲ爲ス其
出发點カラ全體ニ綜合シテ考ヘルモノト思ヒマス、ソレハ
何故カト云ヘバ、公判廷ニ於テハ是等ノ取調べタ結果ガ證
據ニナルカナラヌカ、裁判官ガ之ニ依テ判断ヲ爲スカ爲サ
ナイカト云フ問題デアルノデアリマスカラ、ソレデ私ハ彈
劾主義ガ矢張出來ルダケ裁判ヲ公ニシテ、サウシテ當該官
吏ノ專横ノ無イヤウニスルノガ理想デアル、斯ウ云フ風ニ
見テ居ルノデアリマス、又其結果證據モ裁判官ノ自由ナル
判断ニ任サレルト云フ風ニミクノデアリマスカラ、密行シ
タル裁判ガ——公ノ手續ニ依ラヌテ取調シタ證據ガズンズ
ン法廷ニ於テ判事ノ裁判ノ證據ニナルト云フナラバ、是ハ
矢張糾問主義ノ結果ニナルノデアリマスカラ、私ノ申ス彈
劾主義ト云フノハ、結局サウ云フ意味ノ非常ニ廣イ意味ニ
用ギテ居ルノデアリマス、之ニ反シテ糾問主義ト云ヘバ、申
マデモナク訴訟開始以後ノ公開シナイ席ニ取調べタモノデ
モ、ズン——其書面ガ證據ニナル、隨テ是ハ始終專横ノ傾ガ
アル、ソレデアルカラ世界各國ノ刑事立法ニ於テ、是ハ非常
ニ排斥ヲ受ケテ宜イト思フノデアリマス、我國ニ於テモ從
來人權踐踏ダトカ、或ハ粗暴ナ事ヲヤルトカ云フヤカマシ
イ問題ハ何所カラ起ルカト云ヘバ、結局彈劾主義ガ行レテ
居ナイカラノコトデアリマス、即チ公開ノ席ニ於テ取調
シタ云フ傾向ニナリツ、アルノデアリマス、本員ノ憂
慮スル所ハ全ク此點ニ在ルノデアリマス、此改正案ノ骨
子ガ、若シ其點ニビタリ合ハナイト云フコトデアルナラ
バ、ドウモ改善ノ跡ガ十分見ラレナイヤウニ考ヘルノデア

リマス、併ナガラ是モ昨日申上ゲタ如ク、必要已ムラ得ナイ
所謂必要主義デアルナラバ、何處迄モ必要デアリマスカラ、
ソレハ例外モアリマセウガ、大體ヲ通ジテ此觀念ガナイト
云フト、ドウシテモ刑事訴訟法トシテ、國民ニ行使スルコト
ハ出來ヌト思フノデアリマス、ソレデ結局本日更ニ確メテ
置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ昨日モ御尋致
尋ガアツテ、洵ニ結構ナ著眼點デアルト私ハ拜謁致シテ居ツ
タノデアリマス、私モ矢張此點ニ於テ重複デナイ點ヲ御尋
シテ置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ昨モ御尋致
シマシタ如ク、モウ陪審制度ナルモノハ、全ク彈劾主義ノ權
化デアリマシテ、少シモ糾問主義ヲ用ヰナイ、總テ公開ノ席
デ公ニ證據ヲ取調べテ、ソレデナケレバ、判断スルコトガ出
來ナイト云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フ法案ガ今政府カラ
出ヤウトシテ居ル、ソコヘ持テ行フテ今度ノ刑事訴訟法ヲ
一貫シテ見ルト云フト、先ヅ豫審ヲ經タル事件ニ付テハ、其
豫審ノ記録ガ總テ證據ニナル、是ハ裁判制度ト非常ナ相違
ノ點デアル、矢張此點ハ私ノ憂ヘテ居ル糾問主義デアル、所
デソレハ第一審ガ地方裁判所ノ場合デアリマスルガ、豫審
ヲ經由セナリ區裁判所ノ事件、此區裁判所ノ事件ニ付テハ、
此第三百四十五條ノ法文ノ書方ハ一向感服シマセヌガ「被
告人其ノ他ノ者ノ供述ヲ錄取シタル書類ニシテ法令ニ依リ
作成シタル訊問調書ニ非サルモノハ左ノ場合ニ限りリ之ヲ證
據ト爲スコトヲ得」何ダカ非常ニ語呂ガ惡イデスガ、「非サ
ルモノハ何々スルコトヲ得」ト云フヤウナ書方デ、一寸文章
ノ語呂ガ是ハ極メテ惡イ、ドウ云フ事カラ斯ウ云フコトニ
ナッタモノデスカ、是ハ文章ノ事ハ何レ後カラ申シタイト思
フノデアリマスガ、サウシテ第二項ニ「區裁判所ノ事件ニ付
テハ前項ニ規定スル制限ニ依ルコトヲ要セズ」ト斯ウ規定
シテアル、是ハドウモ沟ニ不都合ナ規定デアルト思フノデ
アリマスルガ、陪審制トソレカラ今ノ本案ト比較シテ見
テモ、非常ナ差異ガアルノデアリマスルガ、殊ニ又此區裁判
所ノ事件ニ付テハ、地方裁判所ノ例ヲ追ハナイデ、何デモ證
據ニナル、誰ガ蔭デ祕密ニ調ベタ事デアツテモ何デモ、皆
ソレガ證據ニナル、而シテ裁判所構成法ニ依ルト、先程モ北
井君ノ言ハレタ如ク、モウ日本ノ裁判制度デハ、區裁判所ノ
事件ト云フモノガ殆ド中樞ニナッテ居ル、懲役十五年ニモ、
單獨判事デ言渡ガ出來ルコトニナッテ居ルノデアル、是ハ中
々重大ナ事件ガ其間ニ多イノデアリマスル、サウ云フ事件
ニ於テスラモ非常ナル糾問主義ヲ發揮シテ、公判廷デハ唯
タ書面ヲ讀聽カスト云フタケデ、何處テ密行シテ取調べタ
書類デモ何デモ、悉皆ソレデ以テ裁判ガ出來ルコトニナッテ
居ル、ドウモ斯ウ云フ規定ノ上カラ見ルト、私方昨日申上ゲ
マシタ如ク、一體政府デハ陪審ト云フモノト、此刑事訴訟法

トノ關係ハ、ドウ云フ風ニ見テ居ルノデアリマスルカ、言葉
ヲ換ヘテ申セバ、陪審制度——陪審法ナルモノハ政府ニ於
テハ刑事訴訟法ヨリカ、先テ此陪審ヲ先キニ決メナケレバ、
ドウテモ斯ウ云フ引掛リガ出來テカラニ、刑事訴訟法ト
云フモノハ、一體後ニ審査ヲスベキ事柄デハナイカ、ソレハ
置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ昨日モ御尋致
尋ガアツテ、洵ニ結構ナ著眼點デアルト私ハ拜謁致シテ居ツ
タノデアリマス、私モ矢張此點ニ於テ重複デナイ點ヲ御尋
シテ置キタイト思フノデアリマスガ、ソレハ昨モ御尋致
シマシタ如ク、モウ陪審制度ナルモノハ、全ク彈劾主義ノ權
化デアリマシテ、少シモ糾問主義ヲ用ヰナイ、總テ公開ノ席
デ公ニ證據ヲ取調べテ、ソレデナケレバ、判断スルコトガ出
來ナイト云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フ法案ガ今政府カラ
出ヤウトシテ居ル、ソコヘ持テ行フテ今度ノ刑事訴訟法ヲ
一貫シテ見ルト云フト、先ヅ豫審ヲ經タル事件ニ付テハ、其
豫審ノ記録ガ總テ證據ニナル、是ハ裁判制度ト非常ナ相違
ノ點デアル、矢張此點ハ私ノ憂ヘテ居ル糾問主義デアル、所
デソレハ第一審ガ地方裁判所ノ場合デアリマスルガ、豫審
ドモ、其趣意ニ於テ斯ウ云フ矛盾ガアルガ、其點ハドウデ
アリマスカ、此點ヲモウ一應伺テ置キタイ
○秋山政府委員 原君ノ御質問ハ昨日ト全然同様デアリマ
スカラ、林政府委員ノ御答ストレバ、矢張同様ノ御答ニナル
ト考へマス、異ダ私ノ頭デ極メテ平凡ナ頭デ御答スル方ガ
問題ガ簡單ニナルト考ヘマスカラ、御答致ス次第デアリマ
スルガ、昨日モ承テ居リマスト、彈劾主義ト糾問主義ノ意
義ガ、原君ノ仰セラレタ事ト林局長ノ御答ニナル所トガ、全
然異テ居ルノデアリマス、此問答ノ間ニ非常ナ廣狭ノ差ガ
アルノデアリマス、寧ロ糾問主義、彈劾主義ト云フ言葉ヲ無
クナス方ガ、却テ諒解ガ宜イカト思フノデアリマス、私共ノ
極ク平凡ナ簡単ナ頭デ見テ居リマスル糾問主義ト云フモノ
ハ、被告人裁判所、線ヲ引イテ見レバ、一本シカ線ノ引ケナ
イ被告人裁判所、此裁判制度ヲ糾問主義ト云フノデアリマ
シテ原告被告人裁判所、線ヲ引ケバ三角形ニナル、此關係彈
劾主義ト申シテ居リマス、裁判制度モ或ハ證據上ノ直接審
理主義、書面審理主義、間接審理主義ト云ヒマスカ、ト云フ
ヤウナモノガ糾問主義ト彈劾主義ト、必然的ノ關係ヲ有ス
ルモノデハナイト私ハ思フノデアリマス、陪審法ハ理想的
弾劾主義ダト仰セラレル、其言葉ノ意義ガ全ク私共ノ糾問
主義彈劾主義ノ意義ヨリシマスレバ、一寸解シ難イ、餘リニ
簡単ニ考過ギテ居ルカ知レマセヌガ、捕ヘテ來テ自分デ裁
判ヲスル大岡サンガセラレタ所ノ裁判、是ガ糾問主義ノ裁
判、糾問主義ノ裁判ト云フモノハ大岡サンノ立派ナ裁判ガア
ル、即チ糾問主義ノ裁判ナノデアリマス、併ナガラ是デハ大
岡サンナラ宜イケレドモ、大岡サンナラザル裁判官ガヤル
トキハ專權專斷方行ハレル、ソコデ國家ノ權力ヲ起訴スル
者ト、裁判ヲスル者ト分ケナケレバ、此分ケタ形ガ即
チ彈劾主義デアルト思フノデアリマス、是ハドウモ私共ノ
讀ミマシタ日本ノ刑事訴訟法ノ本ニハ、大抵左様ニ書
イテアルト思フ、學校デモ私共左様ニ教ヘラレタノデア
リマス、非常ニ貧弱ナル語學デ見マシタ所ノ獨逸ノ學者ノ

書物デモ左様ニナッテ居ル、原君ハ親シク佛蘭西ニ學バレタ
ノデアリマシテ、佛蘭西ノ學者ハドノヤウニ申シテ居リマ
スカ、私ハ全然佛蘭西語ヲ知リマセヌカラ分リマセヌガ、是
ハドウモサウダラウト思フノデアリマス、ソコデ其陪審制
度ヲ先キニシナケレバ、此彈劾主義ノ刑事訴訟法ヲ審査ス
ルコトガ出來ナイデハナイカ、斯ウ仰セラレルノデアリマ
スルガ、總テノ制度ヲ皆ナ同ジニシヤウ、陪審制度ト云フモ
ノヲ見テ、是ハ好イ制度ダ、刑事訴訟法ハ是ト違フ、是ハイ
カヌ、陪審制度ト云フ斯ウ云フ立派ナモノヲ出スノグカラ
是ト皆ナ同ジニシナケレバ、バイカヌ、斯ウ云フコトニナルノ
デアリマスレバ、成程原君ノ仰セラレル通リニ、陪審制度ヲ
先ヅ見テ、サウシテソンナ立派ナモノガアルナラバ、皆ナソ
レニ倣ツテヤツカラ宜イダラウ、斯ウ云フコトニナルノデア
リマスルガ、屢々林政府委員ヨリ申シタ通り、事ノ輕重大小
ヲ稽ヘマシテ、簡單ナルモノハ略式手續ニモ依リマスルシ
區裁判所ノ事案等ニ付テハ、左マデ争ハレナイモノハ手續
ヲ簡単ニ致シマス、事柄重大ニシテ、被告人ノ利害關係非常
ニ大キイモノハ、是ハ陪審デヤラナケレバナラヌ、或ハ被告
人希望セザレバ、普通ノ手續デ十分ニ鄭重ナ審理ヲスルト
云フ風ニ、色々ナ形ニ依テヤルノデアルカラ、必シモ陪審
制ヲ先ニヤラケレバ、本案ノ審議ガ出來ナイ、或ハ出來ル
ニシテモ、不十分テアルト云フコトハ無イト信ズルノデア
リマス

○原委員 マタ答辯ガ漏レテ居リマス、區裁判所ト地方裁
判所ノ公判庭ニ於ケル證據ノ件ハ——

○秋山政府委員 是ハ矢張局長方昨日御答ニナッテ居タノ
デアリマスルガ、只今御答シタノモ矢張其趣旨デアル、必シ
モ總テノモノヲ大小輕重ヲ區別セズニ、總テヲ同シヤウニ
スルト云フコト、是ハ理想デアリマスルガ國家ノ力トンテ
爲シ得ナイ所デアリマス、時ニハ國家ノ力ガ無意義ニ費サ
ル、結果ニモナル、重要ナルモノニ力ヲ注グ爲ニハ重要ナ
ラザルモノ、力ヲ抜クト云フコトハ、國政ノ全般ニ亘リマ
シテト云フヨリハ寧ロ人事ノ全般ニ亘リマシテ、是ハ總テ
已ムヲ得ナイ結果ダト思ヒマス、總テ皆ナ同ジクスルト云
フコトニナリマスルト、力ヲ注ガナケレバナラナイ所ニ力
ガ抜ケテ、注ガナイデ宜シイ所ニ力ヲ注ガナケレバナラナ
クナル、一口ニ言ヘバ能率ノ經濟トモ申シマセウカ、其結
果取扱ガ異ニセラル、ト云フコトニナルノデアリマス

○原委員 大體ノ政府ノ意嚮ハ分ッタヤウデアリマスルガ、
結局是ハ事件ノ輕重大小ニ依テ斯ウ云フ差異ヲ設ケテアル、
是ハモウ沟ニ誰モサウ想像致シテ居ルノデアリマス、陪審
ガ理想ノ制度デアルガ故ニ、總テノモノヲ斯ウト統一シテ、
手續方針ニ規定シナケニヤナラヌト云フコトハ申サナイン

ニアリマス、サウ云フ時勢ノ傾向ニ向ッテ居ルト云フコトデアルナラバ、其趣意ヲ加味シテ、出來ルダケ人權尊重ノ、サウシテ適法ナル穩當ナル證據ニ依ッテ判断ヲ求ムルヤウニシタナラバ、國民ノ福利ヲ増進スル途デハナイカ、斯ウ云フ趣意ノ問題デアル、先程糾問主義ト彈劾主義トノ喰達ノ點ヲ御説明ヲ承、タノデアリマスルガ、是ハ所謂主義デアッテ固ヨリ之ニハ例外ガアル、私ノ昨日來申ス所ノ彈劾主義、糾問主義ト云フ言葉ハ、是ハ學理上ノ言葉デアッテ、説明ヲ略シテ置イタノデアリマスルガ、要スルニ證據ノ問題デアルカラ、詰リ裁判手續ニ依ッテ公開ノ席デ取調シタモノデナケレバ、證據ニ供スルコトハ出來ナイト云フノガ、彈劾主義ノ大體ノ趣意デアル、糾問主義ハ密告シテモ、蔭テ取調ヲシタモノデアッテモ何デモ構ハナイト云フ、斯ウ云フ事デアルカラ、裁判官ノ年足ヲ縛ルテ專斷ナ事ヲスルカラ、證據ニ制限ヲ附シテ、斯ウ云フ場合ノ證據ハ採用スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ證據デナ、ケレバ判斷スルコトガ出來ナイト云フヤウナ、色々制限ノ證據ヲ設ケルヤウナ道行ニナッテ居ルト思フノデアリマス、要スルニ區裁判所ノ事件デモ、地方裁判所ノ事件デモ、格段ニサウ云フ事件ノ大小輕重ニ依ッテ、斯ウ云フ非常ニ大キナ差異ヲ持ヘテモ宜シト云フ趣意デアルナラバ、其趣意ハ一應ハ諒承致シマスルガ、成程タ考ノ下ニ出來テ居ル法案チヤナイカ、斯ウ云フ趣意ノ質問デアルカラ、若シ政府ニ於テサウ云フ事件ニハ小輕重ニ付テハ督促手續ノ規定ガアル、是モ政府ノ説明カラ申セバ、之ハ簡単ナ事件デアルカラシテ、何モ公判ナドヲ開カナクテモ十束一カラゲニ督促令狀デ差支ナイヂヤナイカト云フヤウナ御意見デアルカモ知レナイ、併シ吾々ノ見テ居ル所、又委員諸君ガ頻リニヤカマシク言ッテ居ルノハ、此督促手續ノ問題モ非常ニヤカマシイノデアル、尙又此督促手續ヨリカ更ニ輕微視セラレテ居ル所ノ問題ガアル、ソレハ所謂違警罪ノ即決令デアリマス、折角立派ナル案方出來テ、今陪審制モ設ケヤウトスルトキニ、本員ノ憂ヘテ居ル所ハ、政府ガ殆ド四段ノ形式ヲ以テ、即チ陪審ニ掛ケル事件ヲ、當今ノ理想的の彈劾主義ニ依ッテヤラウトスル、ソレカラ地方裁判所ノ件ニ付テハ、三百四十五條ノ制限ヲ設ケタル證據ニ依ッテ判断モ設ケヤウトスルトキニ、本員ノ憂ヘテ居ル所ハ、政府ガ手續ニ依ッテ所謂簡易手續ニ依ッテ一種ノ裁判ヲスル、尙ホ此違警罪ニ付テハ、三十日以下ノ勾留位ノモノノデアラウカラ、何モナサイモノデアル、警察官ヲシテ判決ヲラシテ宜シト、斯ウ云フ風ナ非常ナ段階ヲ設ケル法案ト見ルコトニナルノデアリマスルガ是ハドウモ驚入、タ次第デアルト

思フ、ソレデ先ヅ私ハサウナレバ督促手續ニ付テハ、是迄委員諸君カラモ質問ニナッテ居ルヤウニ聞及ンデ居リマスカラ、是ハ暫ク譲フテ、違警罪即決令ナルモノニ依ッテ、違警罪ヲ變形ナル判決方法ヲセラル、ノハ、一體ドウ云フ御見解デアリマスカ、刑事訴訟法ヲ改正セラル、ニ當ッテ、違警罪即決例ハ、ドウ云フ御意見ニ依ッテ存セラレタモノニアリマスカ、ソレヲ承リタインデアリマス。

○林政府委員 違警罪即決例ハ世間デヤカマシイ問題デアリ、當局ニ於テモ十分攻研究シテ居リマス、ソコデ刑事訴訟法ノ改正ニ當ッテモ、此點モ十分ニ攻研究シタノデアリマス、併シ之ヲ即時ニ廢スルコトハ、色々ノ關係上適當デナイ、勿論斯ノ如キ變態ノ手續、殊ニ警察署長、分署長ガ裁判官類似ノ處分ヲスルコトハ攻究スベキ事デアル、故ニ違警罪即決例ヲ將來長ク行フテ宜イトハ考ヘテ居リマセヌ、即チ將來之ヲ廢止スルカ、之ニ代ルベキ制度ヲ立テルカ、當局ハ攻究ノ上デ決スル次第デアリマス、併シ本案ガ法律トナッテ實施ノ際ニ、違警罪即決例ヲ直ニ廢スル考ハアリマセヌ。

○原委員 此刑事訴訟法ハ、過去三十年足ラズ攻究サレタ大著述デアリマス、所ガ此違警法即決例モ隨分古イ間ノ問題デアル、憲法違反ノ法律デアルト言フテヤカマシイ問題デアリマスガ、此上違警法即決例ニ付テ攻究スベキ餘地モ無イト思ヒマス、憲法ハ明ニ司法權ハ天皇ノ名ニ於テ裁判所ガ行フベキ事ヲ規定シ、審問處罰ハ法律ニ定メタル裁判官デナケレバ出來ナイトナッテ居ル、サウスルト憲法違反ノ變態ノモノデ、而モ二十年以前ニ出來タモノデアル、ソンナ古イ法律ヲ今日陪審法ガ提出セラレントスル際ニ於テ、政府ガマダ之ヲ考慮シナケレバナラスト云フコトハ、ドウシテモ吾々ノ受取レナイ點デアリマス、吾々ガ刑事訴訟法ヲ審議シテ可決スルト同時ニ、違警罪即決例ノ廢止ヲ提案シ、議決シタナラバ、政府ハ仰同意ニナルコトガ當然ト思ヒマスガ、一應其點ヲ承テ置キマス。

○林政府委員 將來或時期ニ於テ違警罪即決例ヲ廢スルト云フコトハ、政府ハ必シモ不同意ヲ唱ヘマセヌガ、今日直ニ廢スルコトハ不同意デアリマス、裁判所ノ方面即チ國家ノ方面カラ見テモ、一個人ノ方面カラ見テモ、之ヲ廢シテ而モ代ルベキ程度ヲ訟ケナシト、不都合ナ結果ヲ生ズルノデアリマス、今日警察官署ガ達成罪即決例ニ依テ處分スル件數ハ、大正九年ニ四十五万七千九百二十件デアリマス、之ヲ一々普通ノ訴訟手續デ審判スレバ、裁判所ノ數モ、判檢事ノ數モ非常ニ増サナケレバナラヌ、故ニ違警罪ノヤウナ簡単明アル、又一個人カラ見テモ夜間ニ大キナ聲デ歌ヲ唄フ、或ハ醉テ小便スルヤウナコトハ隨分アル、サウ云フ場合ハ普通

事ノ方へ送ルト、斯ウ云フ組立ニ致シマシタ、サウ致シマス
ト云フト、檢事ハ搜査手續ヲ法律ノ規定通りニ行ヒ、サウシ
テ必要ナ場合ニハ、判事ノ助力ニ依テ目的ヲ達スル事ガ出
來ルノデアリマスカラ、如何ナル場合ニ於テモ無理ヲスル
ト云フ實際上ノ必要ガ無イ事ニナリマス、サウ云フ次第デ
二百五十五條ト云フモノハ、檢事ノ搜査手續ニ闘スル基準
ヲ示シタノデアリマスルガ、一面ニ於テハ今日マテ搜査手
續上、世間カラ往々ニシテアリマシタ非難ニ鑑ミマシテ、其
弊ヲ矯メ、サウシテ世人一般ヲシテ安心セシムルト、斯ウ云
フヤウナコトカラ規定ガ出來テ居ル次第アリマスガ、今
宮古君ガ仰セニナツタヤウナ事ハ、今日其弊ガ有ルカドウカ
ハ別ト致シマシテ、此法案ガ實施セラル、曉ニハ、全クサウ
云フヤウナ事ノ無イヤウニナルト確信致シテ居リマス
○宮古委員只今政府委員ノ御答撃ヲ伺ヒマスト、只今私
ノ申上ゲタヤウナコトハ無イ管アルト云フコトデアリマ
ス、甚ダ失禮デスケレドモ、一向政府ハ下情ニ通ジナイモノ
ト私ハ考ヘテ居ル、實際ニ於テ今日幾ツ行ハレテ居ルカ知
レヌ、私共ノ所ヘ之ヲ訴ヘテ來ル者ガ何人アルカ知レナイ、
又實際ニ知ツテ居ル人ガ、矢張道路妨害罪ト云フ名目デ、警
察ニ勾留セラレテ居ル人ガ何人アルカ知レマセヌ、何カ他
ノ事デ告訴サレタト云フヤウナ場合、警察ガ告訴ヲシタ
云フヤウナ場合ニ、警察デ調ベルトキニハ何時モ此手ヲヤ
ル、警察ヘ引張テ來テ、サウシテ長クハ置ケマセカラ、ソ
コデ早速道路妨害罪ト云フノデ勾留ニ處スル、警察ヘ留メ
テ置イテ——勾留シテ置イテ、ドン——他ノ目的ノ事ヲ調
べル之ヲ實際ニ今日無イト思ハレルト云フノデハ済ニド
ウモ私ハ心細イヤウニ感ズル、實際ノ事情ガマダ御分リニ
ナツテ居ラヌト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、是ハ
ドウモ私ハ容易ナラム事デアラウト思フ、ドウモ只今マデ
ノ政府ノ遣方ニ於テハ、斯様ナ事ハ知ッテハ居ルケレドモ、
ドウモ捜査手續上已ムヲ得ヌモノト思ウテ居ラレルノデハ
ナイカト私共ハ考ヘテ居タノデス、之ヲ知ラナイデハ餘リ
ニ件數ガ多イノデアリマス只今ノ四十五万ノ統計ノ中ニ、
幾ラ道路妨害罪ト云フモノガアルカ分リマセヌケレドモ、
先ヅ多クハ道路妨害罪ト云フ名前デ以テ勾留ヲスル、或ハ
警察官ニ聞イテ見マスト云フト、ドウモ斯ウ云フ事ヲシナ
ナクチヤ、逆モ捜査ハ出來ナイト云フヤウナコトヲ言ウテ
居ル者モアル、ソレハドウモ捜査ノ規定ガ不十分ダト云フ
意味カラ、サウ云フコトヲ言ウヤウニ見エマス、此度ノ刑事
訴訟法案デハ、二百五十條ト云フヤウナモノガ出來テ居リ
マスガ、之ニ對シテハ私共矢張意見ガゴザイマス、見ニ角只
今マデノ訴訟手續ヲハ或ハ捜査ノ規定ガ不十分デアルカモ
知レナイ、或ハ捜査ト云フコトヲスル知識ガ頗ル乏シイノ

カモ知レナイ、規定ガ甚ダ不十分デアルナラバ、特ニ規定ヲ
設ケルト云フコトモ宜シノデアルケレドモ、私共ノ知ツテ
居ル範圍ニ於テ立派ナ紳士デヤラレテ居ル、道路妨害罪ト
云フノデ警察ヘ勾留サレテ居ル、非常ナ人權蹂躪ト謂ハイ
續上、世間カラ往々ニシテアリマシタ非難ニ鑑ミマシテ、其
弊ヲ矯メ、サウシテ世人一般ヲシテ安心セシムルト、斯ウ云
云フヤウナコトカラ規定ガ出來テ居ル次第アリマスガ、今
宮古君ガ仰セニナツタヤウナ事ハ、今日其弊ガ有ルカドウカ
ハ別ト致シマシテ、此法案ガ實施セラル、曉ニハ、全クサウ
云フヤウナ事ノ無イヤウニナルト確信致シテ居リマス
○宮古委員只今政府委員ノ御答撃ヲ伺ヒマスト、只今私
ノ申上ゲタヤウナコトハ無イ管アルト云フコトデアリマ
ス、甚ダ失禮デスケレドモ、一向政府ハ下情ニ通ジナイモノ
ト私ハ考ヘテ居ル、實際ニ於テ今日幾ツ行ハレテ居ルカ知
レヌ、私共ノ所ヘ之ヲ訴ヘテ來ル者ガ何人アルカ知レナイ、
又實際ニ知ツテ居ル人ガ、矢張道路妨害罪ト云フ名目デ、警
察ニ勾留セラレテ居ル人ガ何人アルカ知レマセヌ、何カ他
ノ事デ告訴サレタト云フヤウナ場合、警察ガ告訴ヲシタ
云フヤウナ場合ニ、警察デ調ベルトキニハ何時モ此手ヲヤ
ル、警察ヘ引張テ來テ、サウシテ長クハ置ケマセカラ、ソ
コデ早速道路妨害罪ト云フノデ勾留ニ處スル、警察ヘ留メ
テ置イテ——勾留シテ置イテ、ドン——他ノ目的ノ事ヲ調
べル之ヲ實際ニ今日無イト思ハレルト云フノデハ済ニド
ウモ私ハ心細イヤウニ感ズル、實際ノ事情ガマダ御分リニ
ナツテ居ラヌト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、是ハ
ドウモ私ハ容易ナラム事デアラウト思フ、ドウモ只今マデ
ノ政府ノ遣方ニ於テハ、斯様ナ事ハ知ッテハ居ルケレドモ、
ドウモ捜査手續上已ムヲ得ヌモノト思ウテ居ラレルノデハ
ナイカト私共ハ考ヘテ居タノデス、之ヲ知ラナイデハ餘リ
ニ件數ガ多イノデアリマス只今ノ四十五万ノ統計ノ中ニ、
幾ラ道路妨害罪ト云フモノガアルカ分リマセヌケレドモ、
先ヅ多クハ道路妨害罪ト云フ名前デ以テ勾留ヲスル、或ハ
警察官ニ聞イテ見マスト云フト、ドウモ斯ウ云フ事ヲシナ
ナクチヤ、逆モ捜査ハ出來ナイト云フヤウナコトヲ言ウテ
居ル者モアル、ソレハドウモ捜査ノ規定ガ不十分ダト云フ
意味カラ、サウ云フコトヲ言ウヤウニ見エマス、此度ノ刑事
訴訟法案デハ、二百五十條ト云フヤウナモノガ出來テ居リ
マスガ、之ニ對シテハ私共矢張意見ガゴザイマス、見ニ角只
今マデノ訴訟手續ヲハ或ハ捜査ノ規定ガ不十分デアルカモ
知レナイ、或ハ捜査ト云フコトヲスル知識ガ頗ル乏シイノ

カモ知レナイ、規定ガ甚ダ不十分デアルナラバ、特ニ規定ヲ
設ケルト云フコトモ宜シノデアルケレドモ、私共ノ知ツテ
居ル範圍ニ於テ立派ナ紳士デヤラレテ居ル、道路妨害罪ト
云フノデ警察ヘ勾留サレテ居ル、非常ナ人權蹂躪ト謂ハイ
續上、世間カラ往々ニシテアリマシタ非難ニ鑑ミマシテ、其
弊ヲ矯メ、サウシテ世人一般ヲシテ安心セシムルト、斯ウ云
云フヤウナ事ノ無イヤウニナルト確信致シテ居リマス
○宮古委員只今政府委員ノ御答撃ヲ伺ヒマスト、只今私
ノ申上ゲタヤウナコトハ無イ管アルト云フコトデアリマ
ス、甚ダ失禮デスケレドモ、一向政府ハ下情ニ通ジナイモノ
ト私ハ考ヘテ居ル、實際ニ於テ今日幾ツ行ハレテ居ルカ知
レヌ、私共ノ所ヘ之ヲ訴ヘテ來ル者ガ何人アルカ知レナイ、
又實際ニ知ツテ居ル人ガ、矢張道路妨害罪ト云フ名目デ、警
察ニ勾留セラレテ居ル人ガ何人アルカ知レマセヌ、何カ他
ノ事デ告訴サレタト云フヤウナ場合、警察ガ告訴ヲシタ
云フヤウナ場合ニ、警察デ調ベルトキニハ何時モ此手ヲヤ
ル、警察ヘ引張テ來テ、サウシテ長クハ置ケマセカラ、ソ
コデ早速道路妨害罪ト云フノデ勾留ニ處スル、警察ヘ留メ
テ置イテ——勾留シテ置イテ、ドン——他ノ目的ノ事ヲ調
べル之ヲ實際ニ今日無イト思ハレルト云フノデハ済ニド
ウモ私ハ心細イヤウニ感ズル、實際ノ事情ガマダ御分リニ
ナツテ居ラヌト云フコトニナルノデアリマスカラシテ、是ハ
ドウモ私ハ容易ナラム事デアラウト思フ、ドウモ只今マデ
ノ政府ノ遣方ニ於テハ、斯様ナ事ハ知ッテハ居ルケレドモ、
ドウモ捜査手續上已ムヲ得ヌモノト思ウテ居ラレルノデハ
ナイカト私共ハ考ヘテ居タノデス、之ヲ知ラナイデハ餘リ
ニ件數ガ多イノデアリマス只今ノ四十五万ノ統計ノ中ニ、
幾ラ道路妨害罪ト云フモノガアルカ分リマセヌケレドモ、
先ヅ多クハ道路妨害罪ト云フ名前デ以テ勾留ヲスル、或ハ
警察官ニ聞イテ見マスト云フト、ドウモ斯ウ云フ事ヲシナ
ナクチヤ、逆モ捜査ハ出來ナイト云フヤウナコトヲ言ウテ
居ル者モアル、ソレハドウモ捜査ノ規定ガ不十分ダト云フ
意味カラ、サウ云フコトヲ言ウヤウニ見エマス、此度ノ刑事
訴訟法案デハ、二百五十條ト云フヤウナモノガ出來テ居リ
マスガ、之ニ對シテハ私共矢張意見ガゴザイマス、見ニ角只
今マデノ訴訟手續ヲハ或ハ捜査ノ規定ガ不十分デアルカモ
知レナイ、或ハ捜査ト云フコトヲスル知識ガ頗ル乏シイノ

ルガ、場合ニ依フテハ書ケヌコトモアルカラ、是モドウモ必ズサウスルト云フコトハ、今日申上ゲルコトハ出來ナイ、併シナガラ兎ニ角適當ナ方法ニ取扱ノ改善ヲ致シタイト思テ居リマスカラ、只今ノ仰ノ事ハ参考ト致シマシテ、將來ノ改善ノ資料ニシタイト考ヘテ居リマス

○宮古委員 只今ノ御答デ検事カラ呼出狀ヲ出スト云フ事ハ、人ノ職務上ノ事デ已ムヲ得スト云フコトデアリマス、或

ハサウカモ知レマセヌガ、併ナガラ兎ニ角取調ヲシナケレバナラヌガ出テ來ナイカラ其人ヲ呼出スノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、其人ガ出テ來ルニ付テハ、「相尋ネル儀有之候條出頭スヘシ」ト云フヤウナ、其呼出人ガ威壓セラレルヤウナ事ニナリマスカラ、サウ云フ事ノ無イヤウニ、ドウ云フ件デ呼出ヲスルト云フコトノ詳シイ事ハ書ク必要ハ無論アリマセヌガ、其件名ダケハ矢張書イテ出スヤウニスレバ、其出頭ヲスル人ガ、此件ニ付テ自分ハ聽カレルト云フノデ、安心シテ出ルヤウニナルデアラウト思ヒマスカラ、サウ云フ方法ニ致シテ貴ヒタイト私ハ思ヒマス、或ル檢事局デハサウ云フ風ニスル所モアリ、他ノ檢事局デハサウシナイ所モアルト云フ御話デアリマスガ、司法當局ニ於テ訓令デモ出セバドウニデモナリマスカラ、斯フ云フ事ハ司法省カラ訓令ヲ出シテ、事件關係ノ分ルダケノ事柄ヲ書イテ出シテ貴ヒタイト思ヒマス、次ニ伺ヒマス事ハ、今度ノ刑事訴訟法ノ案デ、刑事ニ付テハ上告ノ場合ニ、總テ破毀自判デアルト云フコトニナッテ居リマシテ、是ハ或ハ一つノ問題デモゴザイマセウガ、或ハ此方ガ宜イカモ知レマセヌ、デ

此方ガ若シ宜イトスルナラバ、單リ刑事バカリ破毀自判ト云フコトデナク、民事ノ移送若クハ、差戻ト云フ事デアッテモ、サウナラナイト餘リ權術ヲ得ナイヤウニ思ヒマスガ、政府ニ於テハ刑事訴訟法ヲ斯ウ云フ風ニ改メルナラバ、民事

ニ付テモ、破毀自判ヲスルト云フ事ニ改正ヲサレル、御意見デアルカドウカ、若シ之ヲ民事ハ今マデノ通リニ移送若クハ差戻ヲシテ、刑事ダケガ破毀自判デアルト云フコトデアルト、洵ニ權術ヲ得ズ、甚ダ面白カラス事情ガアリハセヌカト思ヒマスカラ、寧ロ刑事ヲ破毀自判ト云フコトニスルナラバ、民事モ同様ニ破毀自判トスルコトガ宜カラウト思ヒマスカラ、此點ニ對シテ居ルコトデアラウト考ヘテ居リマスガ

○林政府委員 民事訴訟法モ政府ハ改正ノ必要アリト認メマシテ、民事訴訟法改正調査委員會ヲ設ケマシテ、目下改正事業ニ從事中デアリマス、其等ノ點モ委員會ニ於キマシテ、十分考慮致シテ居ルコトデアラウト考ヘテ居リマスガ其結果ドウ云フ事ニナリマスカ、今日責任ヲ以テ申上ゲルコトハ出來マセヌ、併ナガラ現ニ熱心調査中デアルト云フコトハ、事實デアリマス

○宮古委員 豫審ニ付テハ既ニ御尋ガアツカ知レマセヌガ、豫審ニ付キマシテ、辯護人ハ或ル場合ニ於テ附スルコトノ出來ルト云フコトニナッテ居リマスガ、今度ハ徹底的ニ豫審ニ於テモ、被告人、證人ノ訊問ノ際ニ辯護人ヲ附ケルト云フコトニシテ不都合デアルノデアリマスカ、ドウ云フ譯デ極ク僅ナル場合ニダケノ豫審ニ於テ、辯護人ヲ附ケルコトニ爲シテアリマスカ

○林政府委員 本案ニ於キマシテハ豫審ハ全ク公判準備手續デアリマシテ、總テノ取調ハ公判ニ集中スルト云フ原則ヲ採テ居リマス、現行法、殊ニ現今ノ實際デハ、豫審ニ主ニ力ガ注ガレル非難ガアリマスガ本案ニ於テハ全ク之ヲ排斥致シテ居リマス、ソレデ豫審ノ調ハ唯タ公判ニ附スルニ足ル嫌疑ガ十分デアルカドウカ決スルト云フ程度ニ於テ調ベルノデアリマス、ソレデ成ダケ敏活ニ其大體ノ事實ヲ明カニスルコトガ主トナッテ居リマス、サウ云フ次第ニ、被告ノ權利利益ノ擁護ハ公判庭ニ於テ十分出來ルコトニナッテ居リマス、唯ダ公判手續ニ於テ被告人ノ權利利益ノ擁護ノ方面ガ十分デナイト云フヤウナ場合ニ於テハ、ドウシテモ豫審手續ニ於テ辯護人ガ必要デアリマスカラ、サウ云フ場合即チ臨檢搜索又ハ押收ノ手續ヲスルト云フトキニ辯護人ガ立會ヘル、ゾレカラ又證人ノ訊問ニモ場合ニ依リ立會スルコトニナッテ居リマス、被告人ノ權利利益ノ擁護ヲスルニハ、是デ相當デアルト考ヘマシテ、此程度ニ止メマシタ次第デアリマス

○鵜澤委員長 零時四十一分休憩

○鵜澤委員長 午後二時九分開議

○鵜澤委員長 ソレデハ二時カラ開キマス

○森山委員 私ハ人權尊重ノ意味ニ於キマシテ、數項ノ質問ヲ致シタイト考ヘマス、其第一ハ勾引及勾留ニ關スル件デアリマス、本法ニ據リマスルト云フト、罰金、勾留、科料ニ處セラルベキ者ニ付キマシテ、勾引状ヲ發セラル、ハ勿論、リマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、是ハ人權ヲ保護スル上ニシテ、其當ヲ得タルモノデナイト信スルノデアリマス、成程體刑ニ觸レル者ニ於キマシテハ、是ハ國家ノ刑罰權ヲ實施スル上ニ於キマシテ、已ムヲ得マセヌケレドモ、金刑——科料、殊ニ五百圓以上位ナ少額ノ罰金ニ相當スル者ニ向ヒマシテハ、五百圓以下ノ僅ノ罰金ノ者ニ付キマシテモ、是等ヲ發シマシテ、人身ヲ拘束スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、是ハ人權ヲ保護スル上ニシテ、勾留状モ發セラレル事ニナッテ居リマス、尙ホ甚シキニ至リマシテハ、五百圓以下ノ僅ノ罰金ノ者ニ付キマシテモ、是等ヲ發シマシテ、人身ヲ拘束スルコトガ出來ルコトニナッテ居リマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、是ハ人權ヲ保護スル上ニシテ、其當ヲ得タルモノデナイト信スルノデアリマス、成程體刑ニ觸レル者ニ於キマシテハ、是ハ國家ノ刑罰權ヲ實施スル上ニ於キマシテ、已ムヲ得マセヌケレドモ、金刑——科料、殊ニ五百圓以上位ナ少額ノ罰金ニ相當スル者ニ向ヒマシテ、勾引ドコロデハナイ、勾留ヲスルト云フコトハ、人ノ身體ヨリモ、寧ロ金ヲ重ンスルト云フ弊ガアリハシナイカト思ハレル程デアリマス、御承知ノ通リ現行刑事訴訟法ニ於キマシテハ、金刑等ニ付キマシテ、勾留等ヲスルコトガ出来ナイコトニナッテ居リマス、然ルニ政府ニ於カレマシテ、人權ヲ尊重スルト云フコトヲ高唱セラレル此改正案ニ於キマシテ、前陳ノ如キ人ノ身體ヲ拘束スル法規ヲ設ケラレマシタノハ、如何ナル理由デゴザイマスカ、又はヲ適當ト思召スノデゴザイマセウガ、先ツ此點ニ付テ第一ニ伺ヒタイト思ヒマス

○林政府委員 此法案ハ御承知ノ如ク人權尊重ノ趣意ニ依リマシテ、幾多ノ新ラシイ規定ヲ設ケマシタヤウナ次第デ、此點ニ付テハ十分ニ研究モ致シテ斯ノ如ク定ッタ次第デアリマスノデ、罰金或ハ勾留、又ハ科料、斯ウ云フ罪ニ該ル事件ニ付キマシテ被告人ノ住所ガ定マッテ居ラヌ、斯ウ云フ條件ガアリマスト云フト、勾引ハ出來ル、併シ罰金ニ付テハ五百圓以下ト以上トデ區別ガアル、要スルニ財產刑ニ付キマシテモ、勾引勾留ト云フコトヲ、或ル範圍ニ於テ認メタト云

フコトハ、御尋不ノ通リデアリマス、ソレハ此案ニ於キマシテハ、裁判ガ事實ノ真相ニ適合スルコトヲ期スル爲ニ、豫審ニ於キマシテ、必ズ被告人ヲ呼出シマシテ、サウシテ辯解ヲ聽キマシテ、又調べ上ダタ後ニオ前ノ嫌疑ヲ受ケルニ至ラタ理山ハ是レ々々斯ウ云フ譯デアル、ソレニ付テ何カ陳述スルコトガアッタラ述ベタラ宜カラウト云フヤウニ、鄭重ニ調ベヲシマシテ、サウシテ裁判ヲスル、斯ウ云フ主義ヲ採テ居リマス、ソレカラ又公判ニ於キマシテモ、罰金以下ノ罰ニ該ル事件ニ付イテハ、必ズ本人ノ出ルコトヲ必要トシマセヌカ、併ナガラ代人テハドウモ事實ノ真相ガ十分ニ發見出来スト云フコトモ、是ハ從來ノ經驗上アルノデアリマスカラ事件ニ依テハ、矢張本人ニ出テ來テ貰ハナケレバナラス本人ニ出頭ヲ求メテ、サウシテ事實證據ニ付テ十分ノ辯解ヲ聽イテ、然ル後慎重ニ判断ヲスル、斯ウ云フコトニシマセヌト云フト、事實ノ真相ニ遠ザカル判決ヲスルト云フ處ガアリマス、若シ一ツモ誤リガアッタラバ、重大ナ事デアリマスカラ、此法案デハ其方ニ非常ニ注意ヲシテアリマスサウ云フコトニナリマスト云フト、此罰金以下ノ刑ニ該ルカラト云フノデ、被告人ガ出テ來ヌト云フ場合ニ、裁判所ガドウシテモ辯解ヲ聽カナケレバナラヌト云フ時ニハ、勾引ヲスルト云フコトヲ盛ニスルト云フコトガアラ得又場合ニ行ハレル事デアラウト恩フ、ソレカラ又勾引ノミナラズ、勾留モ認メテアルト云フ御尋デアリマシタ、是モ通リデアリマスガ是ハ罰金以下ノ刑ニ付キマシテモ、隨分證據湮滅ナドト云フコトヲ盛ニスルト云フコトガアリマス、罰金ナドハ時トシテ非常ナ多額ニナリマスカラ、僅カバカリノ自由刑ヨリハ、個人々々ニ付テ見ルト云フト、重大ニ感ズル場合モアリマス、ソレデ隨分證據湮滅ナド、云フコトヲ圖ルコトガアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ、之ヲ防ぐ爲ニ、一時拘束スルコト云フコトハ是モ已ムヲ得ヌコトガアリマス、住所不定トカ、逃走ノ虞ガアルト云フヤウナトキモ、同様ノ次第デアリマス、殊ニ辯解ヲ聽クノモ、證據調ノ進行ニ伴テ辯解ヲ聽イテ行ク次第デアリマシテ、證據實際ニハアリマス、無論是ハ已ムヲ得ヌ場合ニ致ス趣意デアリマスガ併ナガラ今申スナウナ事情ガアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ、一時勾留シテ逃走ヲ防ギ、又證據湮滅ノ不減行爲ヲ防ギマシテ、サウシテ辯解ヲ聽ク、斯ウ云フヤウナ必要ガ云フ趣意カラ立案サレタ次第デゴザイマス

○森山委員 是以上ハ議論デアリマスカラシテ止メマシテ、次ニ起訴前ノ勾留ニ付テ御尋不致シタイト思ヒマス、起訴

前ニ於キマシテ、檢事ガ勾留ヲスル、或ハ第一百五十五條ニ依リマシテ、豫審判事ニ請求ヲシテ勾留スル様ナ規定ニナラバ、是ハ以前ニ質問モア、タヤウデアリマスカラ、姑ク措キマシテ、私ノオ尋不シタイノハ、此二百五十五條ニ於テ、スルコトガアッタラ述ベタラ宜カラウト云フヤウニ、鄭重ニ調ベヲシマシテ、サウシテ裁判ヲスル、斯ウ云フ主義ヲ採テ居リマス、ソコデ此起訴前ノ勾留ノ當否ト云フヤウニ事テ居リマス、ソコデ此起訴前ノ勾留ノ當否ト云フヤウニ事スルコトガアッタラ述ベタラ宜カラウト云フヤウニ、鄭重ニ調ベヲシマシテ、サウシテ裁判ヲスル、斯ウ云フ主義ヲ採テ居リマス、ソレカラ又公判ニ於キマシテモ、罰金以下ノ罰ニ該ル事件ニ付イテハ、必ズ本人ノ出ルコトヲ必要トシマセヌカ、併ナガラ代人テハドウモ事實ノ真相ガ十分ニ發見出来スト云フコトモ、是ハ從來ノ經驗上アルノデアリマスカラ事件ニ依テハ、矢張本人ニ出テ來テ貰ハナケレバナラス本人ニ出頭ヲ求メテ、サウシテ事實證據ニ付テ十分ノ辯解ヲ聽イテ、然ル後慎重ニ判断ヲスル、斯ウ云フコトニシマセヌト云フト、事實ノ真相ニ遠ザカル判決ヲスルト云フ處ガアリマス、若シ一ツモ誤リガアッタラバ、重大ナ事デアリマスカラ、此法案デハ其方ニ非常ニ注意ヲシテアリマスサウ云フコトニナリマスト云フト、此罰金以下ノ刑ニ該ルカラト云フノデ、被告人ガ出テ來ヌト云フ場合ニ、裁判所ガドウシテモ辯解ヲ聽カナケレバナラヌト云フ時ニハ、勾引ヲスルト云フコトヲ盛ニスルト云フコトガアラ得又場合ニ行ハレル事デアラウト恩フ、ソレカラ又勾引ノミナラズ、勾留モ認メテアルト云フ御尋デアリマシタ、是モ通リデアリマスガ是ハ罰金以下ノ刑ニ付キマシテモ、隨分證據湮滅ナドト云フコトヲ盛ニスルト云フコトガアリマス、罰金ナドハ時トシテ非常ナ多額ニナリマスカラ、僅カバカリノ自由刑ヨリハ、個人々々ニ付テ見ルト云フト、重大ニ感ズル場合モアリマス、ソレデ隨分證據湮滅ナド、云フコトヲ圖ルコトガアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ、之ヲ防ぐ爲ニ、一時拘束スルコト云フコトハ是モ已ムヲ得ヌコトガアリマス、住所不定トカ、逃走ノ虞ガアルト云フヤウナトキモ、同様ノ次第デアリマス、殊ニ辯解ヲ聽クノモ、證據調ノ進行ニ伴テ辯解ヲ聽イテ行ク次第デアリマシテ、證據實際ニハアリマス、無論是ハ已ムヲ得ヌ場合ニ致ス趣意デアリマスガ併ナガラ今申スナウナ事情ガアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ、一時勾留シテ逃走ヲ防ギ、又證據湮滅ノ不減行爲ヲ防ギマシテ、サウシテ辯解ヲ聽ク、斯ウ云フヤウナ必要ガ云フ趣意カラ立案サレタ次第デゴザイマス

○森山委員 是以上ハ議論デアリマスカラシテ止メマシテ、次ニ起訴前ノ勾留ニ付テ御尋不致シタイト思ヒマス、起訴

如何デアリマセウカ
○林政府委員 二百五十五條ノ規定ニ依リマシテ、檢事ガ勾留ヲ請求シマシテモ、判事ハ必シモ勾留状ヲ出スベキモノデハナインデゴザイマシテ、即チ法律ニ定メタ勾留ノ條件ヲ充シテ居ルモノト判事ガ認メタ場合ニ於テ、勾留状ヲ豫審判事ニ添ヘテ送付ヲ致シマシテ、勾留ヲ求メルノデアリマスカラ、或ハ唯單ニ被疑者ノ勾留ヲ請求スルノデアリマスカラ、是ニハ若シ記錄及證據物ヲ添ヘテヤリマセヌ時ニハ、豫審判事ニ於キマシテ、果シテ勾留スペキ必要アリヤト云フコトヲ判別スルニ苦ムデアラウト思ヒマス、殊ニ今マデ一般ノ形勢ヲ觀マスルト云フト、豫審判事ハ兎角檢事ノ請求ニ雷同シテ、勾留状ヲ發スルヤウナ場合モアル、是ハ豫審判事自ラ豫審ヲシツ、アル場合ニ、勾留ヲスルノデサヘモ然リデアリマス、然ルニ唯單ニ被疑者ノ勾留ヲ請求スルノデアリマスカラ、要求ガアッタカラト云ウテ、直グニ其内容等ヲ調查セズニ、又調査スル材料モナクシテ、被疑者ヲ勾留スルト云フヤウナコトカゴザイマシタナラバ、是ハ甚ダ不都合ナ結果ヲ生ズルト思ヒマスガ、其點ハ如何デアルカト云フコト、今一ツハ此二百五十五條ノ被疑者ノ勾留ニ付キマシテハ、釋放ノ期間ガアリマセヌ、勿論二百五十七條ニ依リマシテ、檢事ガ公訴ヲ提起シナイ、即チ不起訴處分ヲ爲シタ時ニハ、速ニ釋放セヨト云フコトガアリマスガ、起訴スルヤ否ヤト云フ事ヲ決定シナイ中ハ、何時マデモ勾留シテ置クコトガ出來ル、是ハ甚ダ入權ヲ拘束スル所ノ法條デハナイカト思フ、第一起訴前ノ勾留デサヘモ甚シイト思フ、故ニ檢事ノ取扱ニ屬スル所ノ起訴前ノ勾留ニ付トキモ、同様ノ次第デアリマス、殊ニ辯解ヲ聽クノモ、證據調ノ進行ニ伴テ辯解ヲ聽イテ行ク次第デアリマシテ、證據實際ニハアリマス、無論是ハ已ムヲ得ヌ場合ニ致ス趣意デアリマスガ併ナガラ今申スナウナ事情ガアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ、一時勾留シテ逃走ヲ防ギ、又證據湮滅ノ不減行爲ヲ防ギマシテ、サウシテ辯解ヲ聽ク、斯ウ云フヤウナ必要ガ云フ趣意カラ立案サレタ次第デゴザイマス

○森山委員 次ニ公判ニ於テ、法令ニ依テ作成セラレタル即チ書類ノ證據力ニ關スル件ニ付テ御尋ヲ致シタ時ニハモ勾留シテ置クコトガ出來ル、是ハ甚ダ入權ヲ拘束スル所ノ法條デハナイカト思フ、第一起訴前ノ勾留デサヘモ甚シイト思フ、故ニ檢事ノ取扱ニ屬スル所ノ起訴前ノ勾留ニ付トキモ、同様ノ次第デアリマス、殊ニ辯解ヲ聽クノモ、證據調ノ進行ニ伴テ辯解ヲ聽イテ行ク次第デアリマシテ、證據實際ニハアリマス、無論是ハ已ムヲ得ヌ場合ニ致ス趣意デアリマスガ併ナガラ今申スナウナ事情ガアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ、一時勾留シテ逃走ヲ防ギ、又證據湮滅ノ不減行爲ヲ防ギマシテ、サウシテ辯解ヲ聽ク、斯ウ云フヤウナ必要ガ云フ趣意カラ立案サレタ次第デゴザイマス

○森山委員 是以上ハ議論デアリマスカラシテ止メマシテ、次ニ起訴前ノ勾留ニ付テ御尋不致シタイト思ヒマス、起訴

然採用セラザルト云フコトガ、所謂進歩シタ此刑事訴訟法ニ適應スベキ主義デハナカラウカト思フ、ソレニ地方裁判所ニ於テ三個ノ除外例アルハ、是ハ暫ク宥恕スルコトガ出來ルト致シマシテモ、區裁判所ニ於テキマシテハ、斯様ナモノヲ全ク證據ニ採用スルト云フコトハ如何ナルモノデアルルカ、或ハ當局ニ於カレマシテハ、區裁判所ハ輕微ナル事件デアルカラシテ、斯ノ如キモノヲ證據ニシテモ差支ナイト仰シヤルカモ知レマセヌガ、併シ區裁判所ノ取扱ハレル事件ニ付テハ、御承知ノ通り、裁判所構成法ニ就キマシテ、豫審ヲ經ザル事件ハ悉ク取扱フ、中ニハ十年位ノ長期ノ體刑ニ該ル者ヲモ裁判スル所デアリマスコトハ、申迄モナイコトデアル、即チ金刑ノミナラズ、自由刑ニ付テモ、隨分、長イ刑期ノ事件ヲ裁判スル所デアル、然ルニ此裁判所ニ於キマシテハ、合法ニ作成セラレタ所ノ書類、ソレヲ無制限ニ證據トテハ、御尋ノ件云フコトニナリマシタナラバ、矢張吾々ガ叫ビ社會ノ人モ人権尊重ノ爲ニ叫ンデ參リマシタ所ノ、此裁判上ニ對シマスル人權擁護ト云フモノハ、殆ド行ハレザルコトニナリハセヌカト心配スル次第デアリマス、故ニ私ノ意見ト致シマシテハ、區裁判所ニ於キマシテモ同様、少クトモ地方裁判所ト同一ノ手續ヲ以チマシテ、此證據ヲ取捨スルガ當然ト信ジマスルガ、當局ニ於カレマシテハ、尙ホ之ヲ保存セラレマスルニ付テ、相當ノ御理由ガアルノデアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイトと思ヒマス

達ナイ事デアル、斯ウ云フ時ニ原則通リヤリマスト云フト、矢張其被害者ヲ訟廷ニ喚出シテ、證人トシテ審問スル、斯ウレバナラヌ、是ハドウモ人ニ依ツテハ煩雜ニ堪エナイ、ソレデ今日ノ實際ニ於キマシテ、サウ云フ間違ノナイヤウナ事件ニ付テハ、被害者ノ宅ヘ警察官ガ參リマシテ、サウシテ盜難ノ事實ヲ聽キマシテ、サウシテ盜難取書ト云フモノヲ作ツテ參リマス、ソレガ被告人ノ言フ所ト些ットモ間違ガナイ、周圍ノ事情カラ見テモ其通りデアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ、盜難取書ヲ證據ニシテハナラナイ、斯ウ云フヤウナ事ハ、如何ニモ不穩當デアラウ、是ハ一例デアリマスガ、區裁判所ニ於キマシテハ、サウ云フ類例ガ澤山アリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ法律ニ於テ區裁判所ニ於テモ原則通りニヤラナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ窮屈ニシマスト、實際ニ適當デナイソコデ法律ノ精神ハ、無論裁判所ニ於テモ曉リシタル證據デ認定スルノガ理想デアル、法律ノ精神ハ其處ニ在ルノデアリマスガ、法文ニ屹度サウシナケレバナラヌト云フ制限ヲ置クト、實際ニ不都合デアリマス、ソコレ三百四十五條ハ、地方裁判所ニ於ケル原則ヲ定メ、區裁判所ニ於テハ、必シモソレニ依ラヌデモ宜シイ、無論出來得所限リハ確ナ證據ヲ調べテラルノデアリマスガ、必シモナル法條デアル、所ガ本人ガ承諾シタルトキハ此ノ限ニ非ノ人が差押ヲ拒ミ、若クハ證人トシテ調べマスル場合ニ、拒ムコトガ出來ルト云フ規定ノアリマスノハ、是ハ洵ニ結構ズト云フコトニナッテ居リマス、成程此醫師其他ノ方ノ側カラ申シマスレバ、本人ガ承諾スレバ、必シモ祕密ヲ守ル必要ガアリマセヌガ、私ノ御導シャウト思フノハ、本人ノ諾否ト云フモノハ、是ハ本人ノ自由ニ委セラル、意思デアルカドウカ、若シサウデナイトスレバ本人ノ祕密ヲ保護スルト云フ目的ヲ達セザルコトニナリマシテ、甚ダ不都合デアルト信ズル次第デアリマス、此百四十八條等ニ依リマスレバ、但書ニ依リマシテ、帝國ノ安寧ヲ害スル特別ノ場合ヲ除クノ外、承諾ヲ拒ムコトガ出來ナイコトニナッテ居リマスガ、百四十九條百八十七條等ニ於キマシテハ、本人ノ諾否ノ事ニ付テハ、何等ノ規定モゴザイマセヌ、明ニ定メラレテ居リマセヌ、是ハ私ノ意見デハ、無論諾否ノ權ハ本人ニアル、本人ガ厭ヤダト思ヘバ、應ジナンデモ宜シイ、サウデナクトモ隨

○森山委員 次ニ告訴取消ノ點ニ付テ御尋シタイ、本法ニ依リマスルト云フコト、告訴ノ取消ト云フモノハ、第二審迄シカ出來ナイコトニナッテ居ル、是ハ私ノ考デハ、甚ダ當ラ得ナイモノデアルト信ズルノデアリマス、申ス迄モナク告訴ハ即チ被害者ノ権利デアル、告訴スルト否トハ——告訴ヲ維持スルト否トハ被害者ノ権利デアル、既ニ権利ト致シマシタナラバ、何時ニ於キマシテモ之ヲ拠棄スル取消スト云フコトハ、其権利者ノ自由デナケレバナラヌ筋合デアリマス、サレバ第二審ノ終リマデト云フコトニ限ラズ、上告審ニナリマシテモ、何時テモ被害者ノ自由意思ニ依テ取消サレテ、少シモ差支ナイコトデアル、又事ノ實際ニ於キマシテモ、所謂親告罪ニ於キマシテハ、雙方ノ諒解ニ依リマシテ、事件ノ無事ニ終了スルト云フ事ハ屢々ゴザイマシテ、是ハ寧ロ刑事政策ノ上カラ見マシテモ、喜フベキ現象デアルト思フ、双方和解ガ出來ル、了解ヲシテサウシテ告訴ヲ取消シテシマウト云フコトハ、洵ニ結構ナ事デアル、ソレヲ二審迄ハ許スケレドモ、三審ニ至ラハ許サナイト云フコトハ斯ウ云フ洵ニ結構ナル結果ヲ生ズルト云フ行動ヲ爲スコトが出來ナイコトニナルノデアル、即チ告訴人ノ権利ヲ害スルノミナラズ、社會公益上ニモ私ハ影響ヲ及ボシハシナイカト思フノデアリマス、惟フニ是ハ第三審ニ至リマシテ取下ヲスルト云フト、一審迄取扱ヒマシタ所ノ裁判所當局者ガ、結局自己ノ過失ニアラズシテ、原判決ヲ取消サレルヤウナ事ガアリテ、氣ノ毒デアルト云フヤウナ意味デモ含ンデ、斯様ナ規定ヲ設ケマシタモノデアルカモ知レヌガ、司法ノ職ニ在リマスル人ハ、是ハ職務上デ居ルノデアルカラシテ、法ノ規定ニ依テ自己ノ判決ヲ消サレタカラト云ッテ、不名譽デモナケレバ、又之ヲ憐ム必要ハナイ、寧ロ告訴人ノ権利ヲ保護シ、尙又當事者ノ自由ナル意思ニ依テ、告訴權ノ消滅スルモノナラバ消滅サセルト云フコトハ、洵ニ公益上ニ於キマシテモ、必要ダト思ヒマスルノニ、本法ニ於キマシテハ、斯ノ如

○林政府委員 只今ノ御尋ニ付テモ、既ニ前會ニ他ノ委員
カラ御尋ガアツテ、御答シテアルノデアリマスガ、此問題ニ
付テハ學問上カラモ色々ノ論モアリマシ、立法例トシテ
モ、色々ニナッテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアリマス、此案
ヲ審議スルニ際シマシテハ、是ヨリモット制限ヲ強メマシ
テ、検事が起訴シタ後ハイカヌ、或ハ第一審ノ判決ノアツタ
後ハイカヌト云フヤウナ論モ隨分アリマシタガ、結局第二
審判決迄ト云フコトニ落付イタ次第アリマス、只今告訴
ハ權利デアルカラ、何時モ取下ゲテ宜イ筈ダト云フ御話
モアリマシタガ、是ハマア理論ノ問題デアリマスカラ、此所
デ議論フスル譯デハアリマセヌガ、私共ノ考ヘテ居ルノハ、
大變違フノデアリマス、無論其告訴ヲスルトカシナイトカ
云フコトハ、權利デアリマスガ、告訴ヲシテ既ニ訴訟手續ガ
生ジテシマツテ、裁判所ニ所謂權利拘束ガ生ジタ後ニ、其權
利束フ打破ルコトニナル、告訴ノ取消ニ依リマンシテ——是
ハ單ニ自分ノ權利ヲ處分スルノデハナク、訴訟手續ヲ全然
破壊スルモツノ獨立ノ効キニナリマス、單ニ權利デアルカ
ラ、何時モ宜イト云フコトニナルマイト考ヘル、ソレデ御
承知ノ通り、佛蘭西ノ訴訟法ナドデモ、何モ明文ハナイ、併
シ學者間ノ中ノ有力ナル論者ハ、起訴ガアツタ後ハイケナイ
ト、斯ウ云フコトニ言ウテ居ルノデアリマス、理論トシテ告
訴ハ起訴ヲ求メル爲ニヤル、ノデアルカラ目的ヲ達シタ以
上ハ、取下ハ出來ナイト云フ事モ言ヘルノデアル、ソレカラ
他ノ立法例ナドモ、全然告訴シタ後ハ取消ヲ許サヌ、例ヘバ
獨逸ノ法律ナドニ依リマシテモ、原則トシテハ許サナイト
云フコトニナッテ居ル、法文ニ特別ニ書イテアル時ノミニ告
訴ノ取消ヲ許ス、而シテ是モ第一審判決迄ト云フ制限ガア
ルヤウナ次第デアリマス、是ハ隨分色々ノ方面カラ問題ノ
アル所デアリマシテ、段々各方面カラ攻究シマシタ結果是
ガ適當デアラウト云フコトデ定メマシタモノノデアリマス
○森山委員 次ニ上訴権拋棄ノ點ニ付テ御尋致シタ之、三
百八十四條ニ依リマスト云フト、關係者ハ此上訴ノ權ヲ拋
棄スルコトガ出來ル、拋棄シマシテシマヘバ、更ニ上訴スル
コトガ出來ナイコトニナッテ居リマス、是ハ我國ノ今日ノ現
状ニ照シマシテ、餘程考慮スベキ問題デアルト私ハ考ヘル
ノデアリマス、先づ被告人ガ刑ノ言渡ヲ受ケマシタ——専
ラ私ハ人權擁護デアリマスカラ、被告人ノ側カラ見マスガ、
被告人ガ刑ノ言渡ヲ受ケマシタ場合ニ、監獄ノ吏員ハ多ク
ハ上訴ヲ阻止致シマス、被告人ヲ説イタリ勸メタリ、甚シキ
ハ逆モ上訴ヲシク所ガ勝ツ見込ガナイカラ、止メル方ガ宜カ
ラサト言ウチ脅シタリシテ、上訴ヲ阻止スルト云フ弊風ガ、

今日實際ニアルノデアリマス、又言渡ヲ受ケタ當人ニ於キ
マシテモ、サウ云フ話ヲ聞キ、若クハ話ヲ聞カズシテ、自ラ
考ヘマシテモ、是ハ上訴シタ方ガ宜カラウカドウデアラウ
カト云フ事ハ、隨分途中ニ迷ヒマス、サウデアルカラ、五日間
ノ中ニ於キマシテ、第一日ニハ上訴シヤウト思フ、第二日ニ
ハヤメヤウト決心スル、今度第三日ニ至テハ、又ヤラウト云
フ事ヲ考ヘマシテ、其結果上訴ヲ致シマシテ、隨分勝ツト云
フ例ガアル、私ナドハ實務ニ從業スル場合ニ於キマシテ、或
被告人ハモウ到底駄目ダト思フカラ上訴ヲシナイ、監獄ノ
人ニモ明言シ、辯護人ニモ明言スル、所ガ辯護人ノ方デハ相
當ノ意見ガアリマシテ、マアサウ言ハナイデ、ヤッタ方ガ宣
セマシタ結果、果シテ有利ナル判決ヲ受ケル例ガ屢々アル、
然ルニ此法條ヲ執行サレル時ニナリマシテ、或ハ既ニ公判
廷ニ於テ、若クハ言渡ヲ受ケテ、監獄ヘ參リマシタ時分ニ於
テハ、拋棄ノ意思ヲ表示致シテシマヒマスト、今度ハ後ニ後悔
シテ又利益ナル判決ヲ受ケヤウト思ッテモ、受ケル事ハ出
來ナイ事ニナツテ居ル、是ハ自ラ自分で捨テルト云ヘバ捨
ルノデアルカラ、已ムヲ得ザル譯ハナナイカト云ヘバ、ソレ
ハ理論上サウデアリマスケレドモ、被告人ノ如キ憐レムヘ
キ境遇ニ在ル者ハ、洵ニ自分ノ身ノ上ノ事ヲ五里霧中ニ迷
テ、何分決シ兼ネル場合、或ハ意思ヲ變更スル場合、屢々ア
ルノデアル、又是ハ變更サセテ然ルベキモノデアル、然ルニ
此法條ヲ設ケテアリマスルト云フト、ドウモ其期間ニ上告
致シマセヌケレバ、遂ニ是ハ出來ナイ、斯ウ如キ法條ヲ設ケ
マセヌデモ、拋棄スルナラバ、五日間ナリ一週間ナリ上訴致
シマセヌケレバ、實際ノ行動ヲ以テ拋棄シマセヌケレバ、五日
間ナリ一週間ノ間未決デ居ルノデアル、特ニ
拋棄ヲサセテ仕舞シテ、早ク確定サセネバナラスト云フ必要
モナク、又必要ヲ満スコトガアシテモゾレヲ確定スルコト
ガ出來ナインデアリマス、サレバ成ベク此刑事被告人ノ如
キ憐ムベキ人ニハ、十分考慮ノ餘地ヲ與ヘ、或ハ變說改論ヲ
許シテ、而シテ自己ノ無實ヲ救護スル途方アルナラバ、途ヲ
設ケラレマシタノハ、唯確定ヲ早ク急グト云フヤウナ御積
リガモ知レマセヌガ、ソンナ事ハ寧ロソーチノケニシテ、サ
ウシテ從來ノ如ク此拋棄ナドト云フコトハ全然ナイヤウニ
致シタ方ガ適當グラウト信ジマスル、此點ニ付テノ御意見

○林政府委員 被告人ノ上訴権拠棄ノコトハ、現行刑事訴訟法ニハ明文ハアリマセヌガ、併シ同様ニ解釋サレテ居リマス。被告人ノ上訴権拠棄ニ付テ、此案方新シイ主義ヲ採フタ次第デナインデアリマス、ソレデ今御話ノヤウニ、監獄ニ在ル被告人等ニ付テ、監獄官吏ノ職務ノ濫用デアリマス、之ハ十分矯正スル方法ヲ講ジナケレバナラヌト訴ノ拠棄ヲサセルト云フヤウナ事ガアレバ、由シニ事デアラウト思フ、私共ハサウ云フ事ガアラウトハ考ヘテ居リマセス、若シサウ云フ事ガアレバ、監獄官吏ノ職務ノ濫用デアリマス、之ハ十分矯正スル方法ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、唯全體ノ場合カラ見マスト云フト、事件ガ簡單明瞭デアツチ、被告人ハ判決ヲ受ケテ何モ言ヒ分ハナイ早ク確定シテ貰ヒタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘルコトモ實際上隨分アリマス、サウ云フヤウナ場合ニハ、此案デハ控訴期間ガ七日ニナッテ居リマスガ、其間ハ不確定デアルト云フヤウナコトハ、被告人側カラ見テ隨分困ルヤウナコトガアル、ソレデアルカラ、先程告訴ノ場合ニ述べラレタ権利デアルカラ之ヲ拠棄スルコトガ出來ルト云コトハ、此場合ニ當ルト思フ、實際上非常ニ都合ガ宜イコトガ一般ノ場合ニハアリマス、殊ニ此案ニ依リマスルト云フト、上訴権ヲ拠棄スル場合ニハ、法定代理人保佐人トカラ夫トカラ云フモノノ同意ガナカケレバ許サヌコトニナッテ居リマスカラ、判断力ノ鈍イ者ガ、誤サテ上訴権ヲ拠棄スルト云フコトハ無イ事ニナッテ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、當局ニ於テハ、此案ハ此點ニ於テハ至極適當デアルト、斯ウ考ヘテ居リマス

○森山委員 モウ一ツ伺ヒタイ、今度此未決勾留日數通算ノ點ニ付キマシテ、第五百五十八條ニ依リマスト云フト、讀ンデ字ノ如キ規定ニナッテ居リマスガ、私ノ考ト致シマシテハ、被告人ガ上訴致シマシタ場合ニ、其上訴ノ理由ガアリマシテ、即チ上訴ノ趣旨ノ立チマシタ時分ニハ、未決勾留日數ハ全部本刑ニ通算シテ然ルベキコト、信ズルノデアリマス舊刑法時代ニハサウ云フコトデアツク、所ガ本案ニ依リマスト云フト、檢事ノ上訴ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ全日數ヲ通算スル、其他ノ者ノ上訴ノ時ニハ、勾留日數ノ二分ノ一ヲ通算スルト云フコトニナッテ居リマス、所ガ原裁判所ガ不法ナ判決ヲシテ取消サレタト云フコトニナリマスレバ、此被告人等ノ上護ト云フモノハ、洵ニ正當ナモノテアル、即チ被告人ガ自己ノ権利ヲ保護スル爲メ上訴シタ其正當ノ権利ガ保護サレル、其間故ナク勾留サレルコトハ、條理ノ上ニ於テ適當デアラウト思ヒマスガ、左様ナ規定ヲ御設ケニナリマスベキ事デナイ、故ニ被告ノ上訴ノ立チマセヌ場合ハ、是ハ別問題ト致シマシテ、立チマシタ場合ニ於キマシテハ、無論此上訴未決中ノ勾留日數ヲ本刑ニ通算スルト云フコトハ適當デアラウト思ヒマスガ、左様ナ規定ヲ御設ケニナリマス

○林政府委員 未決勾留ノ通算ノコトモ、前ニ御質問ガア
ツタノデアリマスガ、其際ニモ御答シタ通り、未決勾留通算
問題ハ、ヤカマシイ問題デアリマシテ、色々ノ意見ガ出マシ
テ、研究ヲ遂ゲマシタ結果、此處ニ落付キマシタ次第デアリマス
ガ、只今御話ノヤウニ、未決勾留ヲ、被告人ノ上訴ノ立ツ
タ時ニハ、總て通算スル、斯ウ云フ事ハ、概ニ贊成致シ難イ
次第デアリマシテ、詰リ故ナク勾留ト云フコトヲ仰シャイ
マスケレドモ、此案ニ於キマシテ、故ナクシテ一日デモ勾留
シナイ主義ガ明白ニナ、テ居リマス、未決勾留ヲ繼續スル場
合ニハ、逃走ノ虞ガアルトカ、證據湮滅ノ虞ガアルトカ、斯
ウ云フ場合ニ限定サレテ居リマス、故ナク勾留ヲ繼續スル
コトハ全クナイン次第デアリマスカラ、其點ハ此問題ニ拘ラ
ズ十分御諒解ヲ願ツテ置カナケレバナラヌト考ヘテ居リマ
ス、ソコデ未決勾留ト刑ノ執行トシテノ拘束トハ、非常ニ監
獄内ノ待遇ガ違ヒマス、之ヲ同ジヤウニ見ルト云フコトハ、
餘程考ヘモノダラウト思ヒマス、殊ニ實際上、全部通算シタ
方ガ適當デアリマスヤウナ場合ニハ、刑法ノ規定ガアリマ
ス、裁判官ノ裁量ニ依ッテ、全部通算スルコトガ出來ルコト
ニナツテ居リマス、故ニ是ハ矢張總テ全部通算スルトシマス
ヨリ、裁判官ノ裁量ノ餘地ヲ殘シテ實際ノ事情ニ適セシメ
ル方ガ、立法トシテ當ヲ得テ居ルモノト考ヘテ居リマス
○鶴澤委員長 原君

○原委員 午前中、矢張昨日カラ引續キノ質問デアリマス
ルガ、昨日司法當局ニ御伺シタ検事ノ公訴權ノ續キデアリ
マスガ、檢事ノ公訴權ニ付テハ、新法ハ任意主義ヲ採テ居
ル、隨テ起訴スルト起訴セザルトハ、檢事ノ全ク權内ニ屬シ
テ居ル、ソレカラ又一旦起訴シタ場合ニ於テ、檢事ガ隨意ニ
其公訴ヲ取下スルコトガ出來ル、斯ウ云フ大體ノ主義デア
ルノデアリマス、是ハ餘程進ンダ主義ノ下ニ立案セラレテ
アルヤウデアリマスケレドモ、是ハ非常ナ重大ナ結果ヲ來
スト本員ハ考ヘルノデ、昨日來御質問致シタノデアリマス
ルガ昨日御尋シタ所ノ、先づ此起訴不起訴ノ點即チ假令檢
事方過ツテ起訴シタ時ニ於テモ、是ハ裁判所ノ判決ニ依テ
無罪デアレバ、國民ハ甚ダ迷惑デアルケレドモ、結局はハ救
濟ノ途ガ立ツコトニナル、監獄へ行ツタダケハ拘ニ不仕合デ
アルケレドモ、結局裁判ノ力ニ依ッテ公明正大ニナル、所ガ
モ見ルコトガ出來ナシ、サウスルト云フト、折角惡い奴ヲ罰
セフケレバナラヌト云フ規定ガアルニ拘ラズ、檢事ノ手デ以

テ活殺自在ニナル、此場合ニ各國ノ法制デハ、救濟ルノアリマスガ、日本デハ折角此刑事訴訟法ヲ規定シテ置キナガラ、此重大ナル問題ニ付テ、何モ解決ガ無イ、其解决ノ無イト云フコトハ、午前中御尋シタ所ノ違警罪即決例ノヤウナ小サレ問題デハナイ、之ニ付テハ裁判所構成法ニ依テ、抗告ノ途ガアルカラ宜イデヤナイカト云フコトデ、昨日御別レシタノデアリマスガ、之ニ付テハ委員全部ガ希望デアルラシク思ハレル、此點ニ付テ政府當局ハ結局此不起訴處分ニ對シテノ抗告、又ハ特別ノ手續ノ事ニ付テ、何カ御考ガ更ニ起リハシナイノカト云フコトヲ、モウ一度念ノ爲ニ伺ッテ置キマス、是ハ非常ナ重大ナ問題デアル〇林政府委員　此任意主義ト云フコトニ付テ原君ノ御見解ハ、檢事ガ勝手ニ起訴不起訴ヲ決スルト云フヤウニ看ラニテ居ルヤウデアリマスガ、私ハサウハ解シテ居リマセヌ、又本案ノ趣意モサウデナイ、二百八十二條ニ規定シテアリマス如ク、特ニ訴追ヲ必要トシナイ事情ノアル場合ハ、訴ヲ起サナイト云フコトニナッテ居ルノデ、サウ云フ特別ノ事情ナイ時ニハ、訴ヲ起スコトニ無論ナルダラウト思ヒマス、只訴追ヲ必要トセザル事情ト云フモノハ、刑事政策其他ノ關係ニ對シテ不服ノ途ヲ設ケテアリマス、上官ガ其申立ヲ待ッテカ設ケナケレバ、ナラヌト云フ御論デアリマスガ、是ハ昨日モ亦其前ニモ申シタ通り、裁判所構成法ニ於テ、檢事ノ上官ニ對シテ不服ノ途ヲ設ケテアリマス、上官ガ其申立ヲ待ッテ十分ニ調査ヲシテ、サウシテ前ノ檢事ノ爲シタ處分ガ惡ルモケレバ、之ヲ更正シテ起訴ヲ命ズル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、今日迄之ヲ適用シテ、少シモ害ヲ認メテ居ラヌ、ハ此法案ノ根本ヲ破壊スルコトデ、斷ジテ賛成ハ出來マセヌ、ソレハ色々々ノ方面カラ理由ハ申セマセウガ、色々ノ理由ヲ申ス必要ガ無イ、太體カラ申シテ明白デアリマス、今日迄ノ法制ノ立テ方ハ、檢事ハ一ノ司法行政官デアリマス、色々ナ方面カラ起訴不起訴ヲ決スルダケノ材料モ蒐メル、又判断スルニ適當ナ地位ニ在ル、所ガ判事ノ方ハ私ハサウデナイト思フ、判事ハ原則トシテ合法主義ヲ執ラスケレバナラヌ、判事ガ檢事ノ訴ヘタ事件ガ、法律上罪トハナルガ、罰スル必要ガ無イカラ無罪ニスル、斯ウ云フ事ニナテハナラヌ、判事ノ職務上ノ性質ガ、サウナッテ居ラナケレ

バ、裁判上ニ色々弊ガ起ル、是ハ重大ナ問題デアリマシテ、
判事ハ法律上カラ判断シテ、ドウシテモ法律ヲ維持シナケ
レバナラヌ、ソレヲ勝手ニ實際サウ云フコトヲヤラナクト
モ宜イ、無罪ト云フコトニシテモ宜イト云フヤウノコトハ、
私ハドウシテモ贊成ガ出來ナイ、今日迄ノ一體ノ法律制度
ノ立テ方ガサウナツテ居ル、是ハドウシテモ判事ト候事ト其
所ニ職務ノ性質ノ違ガアルノデアルカラ、判事ニ起訴不起
訴ノ判断ヲ任セルノハ不當デアル今一ツハ裁判所ガ起訴不
起訴ヲ決メルコトニナレバ、裁判所ガ起訴不起訴ヲ決シテ、
サウシテ裁判所ガ判決スルト云フコトニナリマスカラ、原
君ノ言ハレタ糺問主義ニナル、裁判ガ起訴シテ判事が裁判
ヲスル、ゾコデ國家ノ機關ガ分立シテ彈劾的訴訟ガ現ハレ
テ來ル、裁判所ガ起訴シテ裁判所ガ之ヲ裁判スルト云フコ
トニナルト、彈劾主義ト全ク反對ニナル、是ハ非常ナ弊害ガ
アルト思フ、兎ニ角此案ハ昨日カラ申上ゲテ居ル通り、彈劾
主義ガ徹底シテ居ルノデアリマス、此根本ニ反スルヤウナ
主義ハ容レルコトガ出來ナイ、其他色々ナ理由ハアリマセ
ウガ、他ノ理由ハ申スマデモナク、今申シタダケデ、不起訴
決定ニ對スル決裁ヲ裁判所ニ求メルト云フコトハ、全然理
由ガナイ、政府ガ全然同意致シ難イト云フコトハ、明デアル
ト考ヘマス

義ヲ行ハナケレバナラヌト思フノデアリマスルガ、是ガ其起訴シテ置イテ、サウシテ宜イ加減ナ時期ニ取下ヲスル、是ガ矢張一種ノ検事ノ手加減デ、裁判所ノ裁判ニ代ルベキ處分ヲ爲スコトニナルト云フコトハ、昨日カラ申シタノデアリマスガ、此検事ノ公訴ノ故棄若クハ取下ト云フコトモ、極メテ重大ナ意義ヲ有ツモノデ、裁判ト非常ニ紛淆ア來タス虞ガアル、是ハ検事ノ大體ノ制度カラ鑑ミテ、極メテ改悪デヤナイカト思ハレルノデアリマス、之ニ付テハ政府ハ若シ之ヲ修正意見ヲ出スルナラバ、ドウ云フ之ニ對スル意見ヲ御有チニナッテ居ルカ、一應承ツテ置キタイ

○林政府委員 政府ハ全然反対スル外ニ途ハアリマセス〇原委員 一體今日ノ検事制度ニ付テハ、從來兎角色々ナ世間カラ疑惑ヲ受ケタリ、色々ナ事ガアルノデアリマスルガ、是ハマア其攻撃スル者モ聞達テ居タク點モ幾多アルト思フノデアリマスガ、結局はハ検事限リテ取調ヲシ、世間ノ者ハ一向知ラナイ、ソレガ後テ證據ニナルト云フ問題カラ結局起テ居ル、重大ナ事件ニ付テハ、總テ此階級ニ依ツテ上命下服ヲテ來テ居ル、殊ニ日本ノ検事制度ニ依ルト云フト、是ハ裁判所構成法ニ規定ガアル如ク、検事ハ一體デアル下級裁判所ノ検事カラ、上告裁判所ノ検事總長ニ至ルマデ、一體ヲ爲シテ居ル、重大ナ事件ニ付テハ、總テ此階級ニ依ツテ上命下服ハ關係ニ依ツテ決定ヲスル場合ガアル、所ガ其上ニ司法大臣ガ矢張監督權ヲ有ツコトニナッテ居ル、構成法デ——是ハ歐羅巴各國ノ立法例ニハ無イ、日本ダケノ新發明ニナッテ居ル、サウスルト先程申上ゲマシタ裁判トノ極メテ紛淆ヲ來スノミナラズ、實ヲ言フト、司法大臣——所謂司法省ト檢事局全體トノ非常ナ經緯ヲ生ズル疑ノアル現在ノ制度デアルノデアリマス、一體其檢事總長ノ地位ハ、上告裁判所ニ歸屬シタル檢事局ノ長デアッテ、上告事件ノ色々ナ仕事ガアルベキコトハ、丁度大審院長ト同等デアル、本員等ノ考ヘル所デハ、或ハ此刑事訴訟法ノ斯ウ云フ大キナ新ナル改正ノ場合ハレ、サウシテ其紛淆ヲ來スコトハ一ツモ無イト思ハレルノデアリマスガ、此點ニ關シテハ政府當局ハドンナ御考ガ、事實裁判所ノ歸屬ノ檢事ノ頭トシテ、其上ニ司法大臣ガ之ヲ監督スルト云フ風ニナッタナラバ、檢事制度ガ理想的ニ行ハレ、サウシテ其紛淆ヲ來スコトハ一ツモ無イト思ハレルノデアリマスガ、此點ニ關シテハ政府當局ハドンナ御考ヲ御有チニナッテ居リマスカ、一應承ツテ置キタイ

○林政府委員 檢事ノ職務上ノ効キヲ十分ニスルニハ、上命下服ノ關係ニ依ツテ、一體トナツテ効クト云フコトガ、必要デアルト考ヘテ居リマスノデ、檢事總長ダケヲ除外スルト云フコトハ、當局ニ於テハ全然理由ガ無イト思ヒマス、是ハ前回ニ山内次官カラモ申サレタ如ク、政府デハ大審院長ニ全國裁判所ノ司法行政監督ノ權限ヲ與ヘルト云フコトニ付

○原委員 次ニ端折ツテ御尋致シマスガ、此検事が捜査ヲスル場合ニ於テハ、即チ起訴前ニ於テ被告人ヲ勾留スルト云フ制度ガ新ニ出來テ居ル、之ヲ見テ實ハ驚イタノデアリマスルガ、一面ニ於テハ極テ人権ヲ尊重シツ、殊ニ檢事ハ證人ヲ喚出入、關係人ヲ喚出シテ聞ク場合ニ於テモ——訊問スル場合ニ於テモ、先程午前ニ色々御意見ガアッタ如ク、若シ關係人ニドウゾ出頭シテ貴ヒタイ、權柄ヅクテ召喚ヲスルト云フコトヲ避ケル位ニシナケレバ、イカヌ、若シソレデ檢事局へ關係人ガ出頭スルコトヲ拒シング場合ニ於テハ、之ニ對シテ何ニモ權力ヲ用キルコトガ出來ナイト云フ位ニマデ、其搜査準備ト云フモノガ餘程緩漫ニ、尊重スルノ趣意ニ基イテ出來テ居ルノデアリマスルガ、所ガ一面ニ於テ被告人ヲ喚出シテ置イテ、罪ガ有ルカ無イカト云フコトヲ取調ベルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナレバ、是程ドウモ昔ノ昔ノ非常ナズコト昔ニ遡ラスト云フト、斯ウ云フヤウナ事例、拷問ニ類スルヤウナ事例ヲ發見スルコトガ出來ナイ位デアル、被告人ヲ監獄署へ引込ンデ置イテ、サウシテ捜査ヲスルコトニナレバ、其捜査ノ結果或ハ起訴ニナラヌカモ知レヌ、斯ウ云フヤウナ場合ニ被告人ラシキ者ヲ拘束シテ置クコトニナルト、大變ニ影響ガアル問題デナイカト思ハレル、是ハチラホラ委員諸君カラモ御質問ニナッテ、ドウセ是モ修正セラルベキ點デアラウト思ヒマスガ、ドウシテ斯ウ云フ事が出來タノデアリマセウカ、今一應承ツテ置キタイ

○林政府委員 檢事ノ職務上ノ効キヲ十分ニスルニハ、上命下服ノ關係ニ依ツテ、一體トナツテ効クト云フコトガ、必要デアルト考ヘテ居リマスノデ、檢事總長ダケヲ除外スルト云フコトハ、當局ニ於テハ全然理由ガ無イト思ヒマス、是ハ前回ニ山内次官カラモ申サレタ如ク、政府デハ大審院長ニ全國裁判所ノ司法行政監督ノ權限ヲ與ヘルト云フコトニ付

○原委員 今御尋ノ點ハ、數回實ハ御答ヲシテ居ル廉潔定人モ訊問ヲスル、押收モスル、捜査モ出來ルト云フヤウナ十分ニ權力ヲ與ヘレバ、捜査ノ目的ヲ達スル上ニ於テ者慮シテ居ル位デアル、檢事總長ダケ取除ケニスルト云フコトハ、全ク思ヒ及バナイ所デアリマス、ソレカラ尙ホ司法大臣ガ監督スルト云フコトニ付テハ、段々ノ御論ガアリマシテ、是ハ世間デモ隨分論ノアル所デアリマスガ、他ノ國ニハサウ云フ事ハナイ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、ソレハドウモ事實ニ違ヒマス、今空デハ覺エテ居リマセスガ、匈牙利ノ刑事訴訟法ナドニハ、司法大臣ガ指揮スルト云フコトガ明カニ書イテアル、併シ外國ニアツテモナクテモ、ソレハ一向關係ガアリマセス、サウ云フ次第デアリマスカラ、中々問題デアルト思ヒマスガ、併シ當局ニ於テハ、今日ノ制度ヲ改ムル意見ハ全ク無イノデアリマス

○原委員 次ニ端折ツテ御尋致シマスガ、此検事が捜査ヲスル場合ニ於テハ、即チ起訴前ニ於テ被告人ヲ勾留スルト云フ制度ガ新ニ出來テ居ル、之ヲ見テ實ハ驚イタノデアリマスルガ、一面ニ於テハ極テ人権ヲ尊重シツ、殊ニ檢事ハ證人ヲ喚出ス、關係人ヲ喚出シテ聞ク場合ニ於テモ——訊問スル場合ニ於テモ、先程午前ニ色々御意見ガアッタ如ク、若シ關係人ニドウゾ出頭シテ貴ヒタイ、權柄ヅクテ召喚ヲスルト云フコトヲ避ケル位ニシナケレバ、イカヌ、若シソレデ檢事局へ關係人ガ出頭スルコトヲ拒シング場合ニ於テハ、之ニ對シテ何ニモ權力ヲ用キルコトガ出來ナイト云フ位ニマデ、其搜査準備ト云フモノガ餘程緩漫ニ、尊重スルノ趣意ニ基イテ出來テ居ルノデアリマスルガ、所ガ一面ニ於テ被告人ヲ喚出シテ置イテ、罪ガ有ルカ無イカト云フコトヲ取調ベルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナレバ、是程ドウモ昔ノ昔ノ非常ナズコト昔ニ遡ラスト云フト、斯ウ云フヤウナ事例、拷問ニ類スルヤウナ事例ヲ發見スルコトガ出來ナイ位デアル、被告人ヲ監獄署へ引込ンデ置イテ、サウシテ捜査ヲスルコトニナレバ、其捜査ノ結果或ハ起訴ニナラヌカモ知レヌ、斯ウ云フヤウナ場合ニ被告人ラシキ者ヲ拘束シテ置クコトニナルト、大變ニ影響ガアル問題デナイカト思ハレル、是ハチラホラ委員諸君カラモ御質問ニナッテ、ドウセ是モ修正セラルベキ點デアラウト思ヒマスガ、ドウシテ斯ウ云フ事が出來タノデアリマセウカ、今一應承ツテ置キタイ

○原委員 此二百五十五條ノ規定ハ、確カ林君ノ前回ノ御説明ニ現行犯モ含ンデ居ル、斯ウ云フ御話デアルヤウデアリマスガ、勾留ノ處分ニ付キマシテハ、主ニドウ云フ場合ニ勾留スルト云フ御意見デアリマスカ、此點ヲ伺ヒタイ、百二十三條ニ規定ガアル、是レ以外ニ——今ノハ廻リクドイデスカラ、更ヌテ申シマスガ、此檢事ノ勾留ノ場合ノミナラズ豫審判事ノ勾留ノ場合ニモ、略ホ同一規定ガアル、勾留ヲコトハ、本人ガ居ナクナルト云フト訴訟手續ガ行ハレナイ、シテ被告人ガ住所所ヲ有セザル場合、ソレカラ逃亡ノ虞アル場合、證據湮滅ノ虞アル場合、此場合三ツノ事ガ主ナルモノノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、一體勾留スルト云フコトハ、本人ガ居ナクナルト云フト訴訟手續ガ行ハレナイ、シテ被告人ガ住所所ヲ有セザル場合、ソレカラ逃亡ノ虞アルカラ、サウ云フ被告人ニ對シテハ拘禁シテ置イテ取調ヲスル、有罪デアレバ刑罰ヲ科スル、言葉ヲ換ヘテ言ヘコトハ、本人ガ居ナクナルト云フト訴訟手續ガ行ハレナイ、シテ被告人ガ住所所ヲ有セザル者ノ如キハ分ナテ居ルノデアリマス、ケレドモ、證據湮滅ノ虞アル場合、此場合ニ於テ拘禁スルト云フノハ一體勾留ノ本質ニ反スルモノデハナイカ

ト思フノデアリマス、矢張斯ウニ云フヤウナ事ヲ検事ノ勾留ノ場合ニ於テモ爲スト云フノハ、一體ドウ云フ趣意デアルカ、之ヲ承リタイト思ヒマス
○林政府委員 一寸今御尋ノ要點ガ分ラヌノデスガ、條文デ云ヒマスト、第何條ノ御尋デアリマスカ
○原委員 條文デ云フト豫審ノ所ニモアリマス、アナタノ方が精シイデセウガ……
○林政府委員 勾留ノ一般ノ條件ハ九十條ニアリマス
○原委員 三箇ノ條件ノアル場合……
○林政府委員 九十條ニ「八十七條」云々トアッテ、八十七條ニ三箇ノ場合ガ規定シテアリマス
○原委員 ソコデス、其場合デス
○林政府委員 其場合ノドウ云フ事ヲ御尋ニナル
○原委員 三箇ノモノノガ必要デアル理由デス
○林政府委員 此法案ノ精神ハ、勾引勾留ヲスルト云フコトハ、人權ヲ尊重スル上ニ於テ、已ムヲ得ヌ場合ニ爲スベキ例外ノ手續ニナッテ居リマス、ソコデ此三箇ノ場合ニ於キマシテ、人身ノ自由ヲ拘束シナケレバ、訴訟手續遂行ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイ、故ニ万已ムヲ得ズ此場合ニ拘束スルコトヲ許ス、斯ウ云フ精神デアリマス
○原委員 万已ムヲ得ズシテ拘束スルト云フ事デアルケレドモ此中デ被告人ガ罪證ヲ湮滅スル虞ノアルトキ、是ガ主トシテ問題デアルノデアリマスガ、検事ガ犯罪ヲ捜査スル場合ニ於テハ、關係人ヲ呼出シテ、關係人ガ陳述ヲ拒ンデモ、之ヲ如何トモスル事ガ出來ナイトナッテ居ルノニ、被告人ガ證據ヲ湮滅スルト云フコトハ、被告人ノ立場カラ云フト、自分ガ惡い事ヲシタノデアルケレドモ、誰シモ自白ラシナイ程度ノモノハ、罪證ヲ隠サウトスル事ハ人情ノ當然デアル、故ニ刑法ニ於テモ、被告人ガ嘘ヲ言ッテモ何モ制裁ガ無イ、寧ロ是ハ或場合ニ於テ、被告人ノ立場カラ云フト正當防衛カモ知レナイ、今自分が引縛ラレヤウトスル、今自分が刑罰ヲ受ケヤウトスル場合ニ、ソレガ證據ヲ湮滅スルカト云ッテ、之ヲ引縛テ置イテ捜査ヲシヤウト云フコトハ殆ド拷問ニ類スルヤウナ遣方デナイカト思ハレマス、若シソレデ被告人ガ證據ヲ湮滅スルカラ、檢驗ガ出來ナイト云フナラバソレハ國家ノ捜査機關ノ力ガ足リナイノデアルカラ、之ヲ追放シテ置イタ所ガ、洵ニ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、如何デアリマセウカ
○林政府委員 被告人ノ訊問ト勾留ト云フコトハ、大變達フ事デアリマスカラ、之ヲ混同シテ論ズルコトハ如何カト考ヘマス、被告人ガ訊問ニ對シテ答フル義務ガ無イト、斯ウ人ガ證據ヲ湮滅スルカラ、檢驗ガ出來ナイト云フナラバソレハ國家ノ捜査機關ノ力ガ足リナイノデアルカラ、之ヲ追放シテ置イタ所ガ、洵ニ已ムヲ得ナイト思フノデアリマス、

ノ訊問ニ對シテモ答ヘル義務ガ無イト云フノハ、訴訟當事者トシテノ地位ヲ重ンジテ斯ノ如ク爲シタノデアル、判事ニ對シテスラ答ヘル義務ガ無イ、檢事ニ對シテ搜査手續ニ對シテ答ヘル義務ガ有ルトハ認メラレナイ、併ナガラ勾留ヲ云フコト、ハ全ク別箇ノ事デアル、被告人デアルカラト云フ、云證據ヲ湮滅スル權利ハ決シテ無イ、進ンテ出ス義務ハ無イガ、併ナガラ湮滅スル權利ハ斷ジテ無イ、サウ云フ事ハ許ベキモノノデナイ、況ヤ勾留ト云フコトハ制裁トシテ科スルノデモ何デモナイ、訴訟手續ヲ遂行スルニ於テ證據ヲ湮滅セラレテハ結局眞ノ事實ガ分ラナイ、犯罪ヲ調べテ檢學ヲスルコトハ、個人タル被告人ヲ見ルバカリデナク、社會ノ千万人ガソレニ依ッテ利害ヲ蒙ルカラ、其兩方ヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、一人ノ兎惡ナル被告人ガアマテ、ソレガ證據ヲ盛ンニ湮滅スル、ソレデモ拘束ガ出來ナイデハ、結局罰スルコトガ出來ナイ、サウスルト良民ハ不安ニ堪ヘナイ、サウ云フモノハナカニ、被告人ガ證據ヲ湮滅スルノ虞ガアマテ、ソレガ爲ニ真相ノ發見ヲ妨ゲラレルヤウナ場合ニハ、一時拘束スルコトハ已ムヲ得ナイト思フ、是ハ何所ノ國デモ認メテ居ル、一向珍シイ事デモ何デモナイ、此案ノ新シイ條件デモ何デモナニ、有觸レタ事ヲ書イタノデアリマス、是ハ天下認メテ當然トスル所デアラウト思ヒマス

○原委員 犯罪者ガ非常ニ兎惡ナル事ヲ續ケルトカ、或ハ證據ヲ湮滅シテ困ルト云フヤウナ場合ニ付テモ、私ハ議論ヲ持テ居リマスケレドモ、假ニ其場合ハ其場合トシタ所ガ、サウデナクシテ、良民ヲ此規定デヤルコトガアルト思ハナケバナラヌ、檢事モ人デアル、過誤ナキヲ期スル事ハ出来ナイ、ソレデアルカラ起訴前ノ被告人ニ對シテハ、餘程慎重ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌノミナラズ、假令起訴セラル場合デアッテモ、未決勾留者トシテ寛大ナル處置ガアッテ欲シイ、犯罪ヲ爲シタ者丈ケニ着眼スレバ御説ノ通りデアルガ、サウデナクシテ良民ガ是デヤラナケレバナラヌト云フ事ニナルト、非常ニ迷惑ヲ及ボス、殊ニ此勾留トカ勾引トカ云フモノハ、先程モ申ス如ク、根本ノ精神ガ、本人ガ居ナルガ、サウデナクシテ良民ガ是デヤラナケレバナラヌト云フシムル爲ニ監獄ニ送ルノデアル、取調ノ便宜トカ、犯罪調査ノ爲ト云フテ勾留ヲスベキモノノデハナイ、ソレハ勾留ナルモノ、性質ニ鑑ミタナラバ、ドウシテモソコニ行カナケレバナラヌト思ヒマスガ、良民ヲ是デヤラタ場合ニハドウスル積リデアリマスカ、良民ノ側カラ見テ、良民ガ嫌疑ヲ受ケタ場合カラ考ヘタナラバ、一體斯ウ云フ規定ハドウ云フ風ニ處理セラルベキモノデアルカ、ソレハ疑問デアルノデアリマス

ベカラザル事デアル、相當ノ嫌疑ガアリ、條件ガアツク場合ニ勾留ガ行ハレルノデアル、ソレハ調ベタ結果、全ク犯罪ノ責任ガ無ト云フ事ハ時々アルデアリマセウ、サウ云フ場合ニ付テ、若シ其處置方輕率デアル、不穩當デアルナラバ、其時ハ其職ニ當ル者ガ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、若シ故意ナラバ刑法上ノ責任ヲ負ハナケレバナラヌ、其以外ハ民事上ノ關係デアル、是ハ自明ノ事デアリマス

○原委員 勾留ニ關シテ、本案デハ隨分變ナ規定ガ出來テ居ルノデアリマスガ、百十三條ニ依ルト、勾留ノ期間ハ二箇月トスル、特ニ繼續ノ必要アル場合ニ於テハ、決定ヲ以テ更新スルコトガ出來ルコトニ規定シテアリマスガ、是モ前來各委員カラ御質問ニナック所デアリマスガ、本員ハ之ニ付テ斯ウ云フ規定ガアツテモ、是ハ改正ノ趣意ヲ完ウスルコトガ出來ナイ法文デアリハシナイカト云フコトヲ蒙ヘテ居ル、先程申上ゲマシタ如ク、公判中モ豫審中モ、勾留ノ精神ハ結局證據湮滅ヲ防グ爲ニスル事ハ、趣意ガ惡イノデアルカラ、住所ノ不定ノ者トカ、逃亡ノ處アル者トカハ、原則トシテ勾留シテモ宜イ、但シソレ以外ノ者ニ付テハ、例ヘバ二週間ナラ一週間シタラ當然釋放シナケレバナラヌ、住所ガ定マッテ居リ、何時デモ裁判所ニ出廷シテ、取調ヲ受ケ得ル状態ニ在ル被告人ハ、何モ勾留スル必要ハ無イ、取調べル時ニハ何時デモ出ラレル者ナラ、サウ云フ者ハ一週間ナラ一週間、二週間ナラ一週間過ギタラ、當然釋放スペキモノトナレ、是ハ現在佛蘭西法ニ於テハ御承知ノ如クサウ云フ風ニナッテ居ル斯ウ云フヤウナ規定ニ換ヘタラ如何デアリマセウカ、政府モ折角二箇月ニスルト云フ精神デ作ラレテ居位デアルカラ、今一步進メテ、歐羅巴ニハサウ云フ立法例モアルコトデアルカラ、サウ云フ風ニ修正シタラ、政府當局ハ如何ニ御考ニナルデアリマセウカ

○林政府委員 勾留ヲ致シマシテモ其原因ガ無クナッテ、即チ必要方無クナレバ、釋放シナケレバナラスト云フ御意見ニハ全然同意デアリマス、本案ニ於テ百十四條ニ其事ガ書イテアリマス

○原委員 今御尋シタノハサウデハナイノデス、住所ノ定マラザル者、若クハ逃亡ノ虞アル者ニ對シテハ、此規定デ宜イカモ知レマセヌガ、住所ガ定マッテ居リ、逃亡ノ虞ノ無イテハ如何デアリマセウカト云フノデス

○林政府委員 一體勾留スルノハ、留スベキ必要アリ、原因ガアツテスルノテアリマスカラ、其原因ガ繼續シテ居ル間ハ、已ムヲ得ズ勾留モ繼續スルコトニナルダラウト思ヒマス、住所不定デアルカラ勾留シテ住所ガ依然定マラナイ證

憑滅減ノ處ガア、テ勾留シタガ其處ガアルノニ一週間ナラ
一週間經ツカニ直ニ放スト云フコトニナルト勾留ヲシタ
趣意ガマルデ立タナイコトニナル、サウ云フコトナラ初カ
ラ勾留ヲシナイニ優ツテ居ル勾留ハ已ムヲ得ズスルト云フ主
義ヲ探ツタ以上ハ一定ノ期間ノ間ハ之ヲ繼續スルコトモ亦
已ムヲ得ヌ事デアリマス、併ナガラソレヲ餘り長ク繼續ス
ルコトハ餘程注意ヲ要シマスカラ、ソコテ此法案ニ於テハ、
如何ナル事情ガアッテモ、勾留期間ノ限度ハ一箇月デアル、
斯ウ云フ原則ヲ置イタノデアリマス、ソレデ此案ハ勾留ニ
付テハ非常ニ注意ヲ拂ツテ居ルト云フコトハ明カデアル
○原委員 サウスルト此規定ニハ、他ノ委員カラモ質問ニ
ナツテ居ルノデアリマスガ、順序上御尋シテ置クノデスガ、
一年デモ二年デモ續クモノデアルト云フコトハ先刻ノ御
答ニ依ツテ裏面カラ分ルノデアリマスガソレハ固ヨリ必要
ガアッタラ、サウスル御考デアリマセウカ

○林政府委員 勾留ノ期間ノ限度ハ二箇月トナツテ居リマ
ス

○原委員 更新シタラ實質ハ一年デモ二年デモ、三年デモ
續クコトヲ豫想シナケレバナラヌガ、サウデアリマスカ

○林政府委員 机上ノ單純ナ空論トスレバ、三年デモ十年
デモ續ケ得ル事ニナリマセウ、併ナガラ訴訟手續ヲ進行ス
ルニ、勾留ヲ三年モ五年モシテ置イテ調ベナケレバナラヌ
ト云フコトハ、實際的ニハ無イト云フコトヲ斷言致シマス

○原委員 若シ實際的ニ無イトスルナラバ、特ニ今ノ更新
ノ規定ハ唯夕告朔ノ僚羊位ノ考デアッテ、是ハ修正サレテモ
政府ニ於テハ御異議ハ無イヤウニ思ハレマスガサウデアリ
マセウカ

○政府委員 此百十三條ノ更新ニ關スル部分ヲ削除スルト
云フコトニハ、無論同意ハ出來マセヌ、言フマデモナク訴訟
事件ニ依リマシテハ非常ニ複雜シテ居ル、此場合ニ二箇月
内ニ一應ノ取調ヲ遂ゲルト云フコトハ、實際上出來ナイ場
合ガアルト云フ事ハ御承知ノ通リデアル、サウ云フ場合ニ
於テ、一方ニ於テ被告人ハ證據湮滅ヲ居ル一方ニ於テ
ハ熱心ニ二箇月調ベタガ、マダ目鼻付カヌノニ、二箇月經
テバ放シテシマウト云フコトニナルト、事實ノ真相ヲ發見
スル訴訟ノ目的ヲ達シ得ラレナイ、ソレ故ニ斯ウ云フ特殊
ノ場合ニ於テ特ニ更新ノ決定ヲスル、更新ノ決定ヲスルニ
付テハ、何故ニ決定ヲスルト云フ理由ヲ明示シナケレバナ
ラヌ、其決定ニ對シテハ、抗告スルコトガ出來ルト云フコト
ニナツテ居リマスノデ、更新ト云フコトハ全く特別ノ必要ノ
場合ニヤル、サウ云フ必要ガ實際的ニ明カナル以上ハ、之ヲ
削ルト云フコトニハ同意ヲ致シ兼ネマス

○原委員 デアリマスカラ、本員先程カラ聽イテ居ルノデ

アルニ一箇月以上必要ガアッテ、今ノ更新ノ必要ヲ認メラレ
タ場合ニハ、二年デモ三年デモ實質上監獄ニ繫イテ置クト
云フコトハ無論出來ル見込テアリマスカト云フコト
ヲ聽イテ居ルノデス、其間ニ對シテ、イヤゾレハ空想トシ
テハサウ云フコトハ考ヘラレルケレドモ、期間ハ二箇月デ
アルト云フコトデ一向明確ニ分リヤセスガ、單純ニ申セバ二
年デモ三年デモ必要ガアッタラ、續ケラレル規定デアルト
云フコトニ諒承シテ差支ナインデアリマスカ

○林政府委員 ソレハ先程御答シタ通り、卓上ノ論トスレ
バサフ云フコトニナルノデスガ、實際上ニハ無イノデス
○原委員 今實際上有ルカラ、決定スル場合ニサウ云フ場
合ニ止メテ置クト云フノデスガ、實際上無イノデセウカド
ウデセウ、是ハ各裁判所ノ方針ニ關スル事デアリマスカラ、
尙ホ一應確メテ置キマス

○林政府委員 各裁判所ノ方針ト云フコトヲ仰シヤッタヤ
ウデアリマスガ、此法案ハ繰返シ申ス如ク、人身ノ自由ヲ非
常ニ尊重致シマシテ、勾留ト云フコトニ付テハヤカマシイ
規定ヲ設ケテ、万曰ムヲ得ザル場合ニ勾留ヲ行フ、已ムヲ得
ザル程度ニ於テ拘束ヲ繼續スルト云フ主義ニナツテ居リマ
ス、故ニ此案方にハレルナラバ、今日ノ状態ト較ベテ、勾留
期間ハ非常ニ短縮スルト云フコトヲ政府ハ確信シテ居リマ
ス、今御話ノヤウニ三年モ五年モ拘束シテ置クト云フヤウ
ナコトハ、此案ガ行ハレタ以上ハ、斷ジテ無イト云フ確信ヲ
持ツテ居リマス

○原委員 上告審ニ色々々新タナル規定ガ設ケラレテ、事實
ニ關スル刑事裁判ヲスルコトガ出來ルヤウニ見タノデアリ
マスガ、一體上告審ナルモノノ本旨カラ割出セバ、隨分變ニ
受取レルノデアリマスガ、恰モ事實裁判所ノニ審ニ對シ三
審ニ審ニ對シテ四審ヲ設ケ、事實裁判ハ何所マデモ人民ノ
側カラハ、必要ニ考ヘラレルカモ知レマセヌケレドモ、併シ
果シテソレガ人民ノ幸福ニナルカドウカ、本員ハ非常ニ疑ツ
テ居ルノデアリマス、法律一點張デハドウシティカヌノデ
アリマスカ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、今後刑事訴訟手續ノヤウ
ナ工合ニ、上告審ト云フモノヲ守ツテ置イテハドウ云フ害ガ
アルノデアリマセウカ、ソレヲ承チテ置キタイ

○林政府委員 審級制度ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是
ハ餘程大キナ問題デアリマスガ、今日ノ一般ノ刑事訴訟
手續ニ於テハ、審級制度ヲ執テ一旦判決ヲシテモ、ソレデ
確定ノモノトハシナイト云フコトガ原則ニナツテ居ル、是ハ
勿論サウデナケレバナラヌ、ソコデ審級制度ヲ幾階級ニス
ルカト云フコトモ、是モ一つノ問題デアリマス、現行法ハ事
實審ハ二審級、後ノ一審級ハ法律審斯ウ云フ制度ヲ執テ
居ルノデアリマス、サリナガラ色々々實際ノ事蹟其他ノ方面

カラ段々攻究ヲ遂ゲマシタ結果、事實審ヲ二審級經マシラ、
裁判ヲシタ事件ニ付テモ刑ノ量定ニ付テ、ドウモ如何デアラ
云フコトハ無論出來ル見込テアリマスカト云フコト
ヲ聽イテ居ルノデス、其間ニ對シテ、イヤゾレハ空想トシ
テハサウ云フコトハ考ヘラレルケレドモ、期間ハ二箇月デ
アルト云フコトデ一向明確ニ分リヤセスガ、單純ニ申セバ二
年デモ三年デモ必要ガアッタラ、續ケラレル規定デアルト
云フコトニ諒承シテ差支ナインデアリマスカ

○林政府委員 ソレハ先程御答シタ通り、卓上ノ論トスレ
バサフ云フコトニナルノデスガ、實際上ニハ無イノデス
○原委員 今實際上有ルカラ、決定スル場合ニサウ云フ場
合ニ止メテ置クト云フノデスガ、實際上無イノデセウカド
ウデセウ、是ハ各裁判所ノ方針ニ關スル事デアリマスカラ、
尙ホ一應確メテ置キマス

○林政府委員 各裁判所ノ方針ト云フコトヲ仰シヤッタヤ
ウデアリマスガ、此法案ハ繰返シ申ス如ク、人身ノ自由ヲ非
常ニ尊重致シマシテ、勾留ト云フコトニ付テハヤカマシイ
規定ヲ設ケテ、万曰ムヲ得ザル場合ニ勾留ヲ行フ、已ムヲ得
ザル程度ニ於テ拘束ヲ繼續スルト云フ主義ニナツテ居リマ
ス、故ニ此案方にハレルナラバ、今日ノ状態ト較ベテ、勾留
期間ハ非常ニ短縮スルト云フコトヲ政府ハ確信シテ居リマ
ス、今御話ノヤウニ三年モ五年モ拘束シテ置クト云フヤウ
ナコトハ、此案ガ行ハレタ以上ハ、斷ジテ無イト云フ確信ヲ
持ツテ居リマス

○原委員 上告審ニ色々々新タナル規定ガ設ケラレテ、事實
ニ關スル刑事裁判ヲスルコトガ出來ルヤウニ見タノデアリ
マスガ、一體上告審ナルモノノ本旨カラ割出セバ、隨分變ニ
受取レルノデアリマスガ、恰モ事實裁判所ノニ審ニ對シ三
審ニ審ニ對シテ四審ヲ設ケ、事實裁判ハ何所マデモ人民ノ
側カラハ、必要ニ考ヘラレルカモ知レマセヌケレドモ、併シ
果シテソレガ人民ノ幸福ニナルカドウカ、本員ハ非常ニ疑ツ
テ居ルノデアリマス、法律一點張デハドウシティカヌノデ
アリマスカ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、今後刑事訴訟手續ノヤウ
ナ工合ニ、上告審ト云フモノヲ守ツテ置イテハドウ云フ害ガ
アルノデアリマセウカ、ソレヲ承チテ置キタイ

○林政府委員 原君ノ言ハレマシタ所ハ、絶對的ノ直接審
理ノ主義デゴザイマスルガ、果シテ絶對的直接審理主義ガ
宜カドウカト云フコトハ、是ハ前カラノ問題デアリマス、
無論其主義竝ニ之ヲ適用スベキ範圍等ニ付テハ、調査委員
會ニ於テ十分ニ其攻究ヲ遂ゲタノデアリマス、是ハ御承知
ノ通リ學問上カラ申シマシテモ、直接審理ト云フ事ヲ今日
ニ於テハ前程強ク主張サレテ居ラナイ、原君ハ佛蘭西法ニ
ハ殊ニ精シイ御方デアリマスガ、御承知ノ通り佛蘭西デ十
七八世紀頃ニ於テハ、間接審理、書面審理、密行審理、是デ非
常ニ弊害ガアル、ソレカラ革命ガ起ツテ、其後ハ直接審理ト
云フ事ヲ大原則ニシテ居タ、ソレガ歐羅巴ニ傳ハツテ、直接
審理デナケレバナラヌ様ニ、十九世紀時代ニハ一般ニ思ツテ
居タ、是ハドノ書物ニモ書イテアル、所ガソレガ前ノ間接
審理ノ弊ニ驚イタ結果サウナツタノデ、段々冷ニ考ヘルト、
直接審理ニ直接審理ト云ツテモソレ賈カナケレバナラ
ヌト云フ道理ガ無イ、矢張社界ノ色々々事情ノ變遷モアリ、又
裁判檢察等ニ當ル人ノ人格、學識、經驗、色々々方面ガ其時
代ハ變ツテ居リマスカラ、ソコデ直接審理ト云フモノヲ徹

底シナクモ宜シト云フコトガ、今日ノ說トシテ認メラレテ居リマス、學問上デモサウデアル、又實際上カラ申シマシテモ、總テ直接ニ呼出シテ調ベルト云フコトハ、事件ニ依テハ逃モ煩ニ堪ヘナイ、又事實ノ真相ヲ發見スル上ニ於テハ必シモ必要ノナイ事デアル、例ヘバ豫審ヲ經ナイヤウナ簡單ナ事件ニ於テ、公判ニ直接起訴スル、此場合ニ告訴状ガアル、此告訴状ニ詳シク書イテアル、種々ノ事情カラ見テモ間違ナイ、斯ウ云フ場合ニ必シモ一々呼出スト云フ必要ハ無カラウト思フ、所謂告訴状ノ如キモ、公判廷デ朗讀シテ、書類トシテ證據ニ採用シテ事實ヲ判断スル、斯ウ云フコトヲ此法案ニ於テ認メテ居ル次第アリマス。

○鶴澤委員 私ノ大部分ノ質問ハ小委員會ニ御讓り致シマシテ、ソコデ「點ダケ伺ヒタイガ、第一點ハ反對訊問ト誘訊問ニアリマス、此事ハ委員長、ドナタカ御聽ニナッタデアリマセウカ」

○鶴澤委員 イ、エマダ……

○鶴澤委員 サウ云フ用語ハ無論法文ノ上ニアリマセヌケレドモ、私ノ云フノハ英米法ニ所謂「クロックエキザミネーション」竝ニ「リーデイングクエスチョン」ト云フコトヲ申スノデアリマス、此現行法ハ辯護士ノ直接訊問權ヲ認メテ居ルノデアリマスガ、改正案ハ第三百四十條第三項ヲ以テ明ニ認メテ居リマス、此點ハ非常ノ進歩トシテ私モ喜ンデ居ル所デアリマス、ソコデ先づ願序トシテ先づ御伺シタイノハ、此三百四十條第三項ニハ、辯護人ガ裁判長ノ許可ヲ受ケテ訊問スルコトガ出來ルト云フ規定ニナッテ居リマスガ、改訂案ハ第三百四十條第三項ヲ以テ許可ナヘ得タナラバ、辯護人ハ自由ニ訊問方出來ルノデアリマセウカ或ハ假令許可ヲ得テモ、裁判長ハ勝手ニ之ヲ制限シ、差止メント云フコトガ出來ルト云フ趣意アリマスカ、其點ヲ先づ伺ッテ置キマス。

○林政府委員 刑事訴訟法案ノ三百四十條ノ意味ハ、許可ヲ受ケタ以上ハ、自由ニ訊問スルコトノ出來ルト云フ趣意デアリマス、併ナガラ裁判長ハ法廷警察權、訴訟指揮權ヲ持ツテ居リマスカラ、其行使ヲ制限スル意味ハナイ

○鈴木委員 サウシマスルト云フト、此改正案ニ依リマスト、辯護人ノ反對訊問ヲモ無論認メルコトニ解釋シテ宜シトイ思フ、無論現行法モ反對訊問ハ禁止シテ居ルト云フ趣意デハアルマイト思ヒマスガ、從來ノ例ニ依リマスルト、裁判長ガ直ニ差止メル、反對訊問ト云フ以上ハ、初メカラ反對訊問ラシイ訊問振ヲスレバ、直グニ分テシマッテ、目的ヲ達スルコトガ出來ヌカラ、先づ甲ノ答ヲ得ヤウト致シマスレバ、乙、丙、丁、各方面カラ責道具ノ陣立ラシテ、然ルニ甲ノ所ニ持テ行フテ始メテ反對訊問ノ效果ガ得ラレル、然ルニソレハ現行法竝ニ今ノ制度ニ於テハ、殆ド行ハ

レテ居リマセヌ、改正案ハソレヲ認メルノデアリマスケレドモ、只今法廷警察權其ノ他ノ方面ヲ、矢張習慣ニ泥ンデ、サウ云フ反對訊問ヲ阻止スルヤウナ處ガアリハシナイカト私共ハ非常ニ心配スルノデアリマス、此點ニ關シテハ、何カ別ノ法文見タヤウナモノヲ、例ヘバ被告人ハ丁寧深切ニ訊問スベシト云フヤウナ警告的訓示的、規定ニ類スルモノヲ、私共ハ非常ニ心配スルノデアリマス、此點ニ關シテハ、何カ置ク必要ハアリマスマイカ、其點ハ如何テスカ

○林政府委員 只今御尋ノ點ハ、現行法テハ直接訊問權ヲ認メテ居リマセヌカラ、一々裁判長ニ申立て、裁判長ガ問フ、斯ウ云フコトデ、辯護人ノ方面カラ見ルト云フト、自分ノ問ハント欲スル趣意ヲ、裁判長ガ能ク諒解シナイコトモアブ、其方面カラ見ルト云フト、所謂隔靴搔痒ノ感ガアルト云フコトハ已ムヲ得ヌト思フ、ソコデ本案ニ於テハ直接ニ訊問シテ宜イト斯ウ云フコトニ致シマスルカラ、從來トハ全ク變ルコトニナリ、隨て直接ノ事項ヲ聽クノデナケレバナラナイト云フコトハ無論ナイ、裁判長ノ訊問スルニシマシテモ、色々ノ方面カラ聽クノデアリマスカラ、辯護人ガ訊問スルノモ同様デアラウト思フ、ソレヲドウモ裁判長ガ間違フテ止ムルト云フヤウナ事ガアレバ、ソレハ裁判長ガ不明ナノデアリマシテ、サウ云フ事ハ此法律ガ出來タ以上、運用ニ於テ誤リハ無イト思ヒマス、別ノ法文トシテ置ク必要ハ無カラウト思ヒマス、實ハ此法案ヲ實施サル、場合ニ於テハ、此點ノミデアリマセヌガ、色々ノ方面ニ美シイ法廷習慣ヲ造ツテ行キタイト思ヒマス、是ハ我々ノ方面カラモ努力致シマスガ、辯護士ノ職ニ居ラル、人々努力セラレマシテ、此際美シイ習慣ヲ立て、行キタイ、斯ウ云フ事ニシタイト考ヘテ居リマス、ソレハ後デ色々訓令ヲ出ス必要ガアルカモ知レヌト思ヒマスガ、併シ法文ヲ置クト云フコトハ如何カト思ヒマス

○鈴木委員 其趣旨ガ分レバ洵ニ結構デアリマス、次ニ此誘導訊問ノコトデアリマスルガ、現行ノ制度ニ於キマシテ、豫審判事ナリ公判ノ判事ナリ、何トナク先入意見ヲ先づ決メテ、俗ニ豫断ト申シマスガ、サウ云フ事ハ甚ダ宜シクナイノデアリマスカ、事實ニ於テハ先づ意見ナルモノヲ決メテ、ソレニ嵌マルヤウナ訊問ノ仕方ヲ總テ致シテ居ルヤウナ傾ガアル、被告人ニ對シテモ、證人ニ對シテモ同ジヤウナ傾向ガゴサイマス、誘導訊問ハ何レノ國ニ於テモ、是ハ禁止サルベキ事項ノ一つニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、現在ニ於テハサウ云フ弊害ガアル其點カラ申セバ、辯護人モ矢張同意弊ニ陥ル場合ガアリ得ルノデアリマスガ、誘導訊問ハシテハ相成ラヌト云フヤウナ趣意ノ事ヲ、矢張訓示的ノ意味デ法文ニ書カレテ置ク必要ガアリマスマイカ、其點ヲツ

○林政府委員 被告人ノ訊問ニ付キマシテハ、此法案ハ全然新シイ主義ヲ執リマシテ、被告人ノ當事者タル地位ヲ十分ニ認メマシテ、其精神ト云フモノハ百三十四條ニ現レテ居リマス、百三十四條ハ豫審ニ於テモ、公判ニ於テモ、總テ適用シ得ル法文デアリマスガ、之ニ依リマスト云フト、「被告人ニ對シテハ被告事件ヲ告ケ其ノ事件ニ付陳述スベキコトアリヤ否ヲ問フヘシ」斯ウ云フ事ニナッテ居リマス、今日多クヤツテ居ルヤウニ、被告人ニ對シ、オ前ハ斯ウ云フ事ヲシタノデアラウト云フヤウナコトデ、追窮シテ訊問スルナド、云フ事ハ、此法案デハ認メマセヌ、要スルニオ前ニ對シテ斯ウ云フ罪デ起訴ニナッテ居ル、之ニ對シテ辯解スル事ガアレバ——陳述スル事ガアルナラバ、述ベタラ宜カラウト云フヤウニ、大體英吉利流ノ形式ヲ執リタイト斯ウ云フ積リデアリマス、是ハ條文ノ上ニ精神ガ明ニナッテ居リマスカラ、被告人ノ訊問ニ付テ、ソレ以上ノ規定ハ入レルニ及バズト思ウテ居リマス、ソレカラ證人訊問ノ方ハ二百五條ノ方ニ「證人ニハ訊問事項ニ付連絡ツタル供述ヲ爲サシムヘシ」ト云フヤウナ訊問方法ニ付テ、一ツノ訓示的規定ガアリマス、個々ノ事實ヲ細カク刻ンデ訊問スルト云フヤウナコトハイカヌ、矢張一ツノ訊問事項ヲ出シテ、サウシテソレニ就テ證人ノ記憶シテ居ル所ニ連絡シテ言ハセル、斯ウ云フヤウナ事ニナッテ居リマス、隨テ誘導訊問ナドト云フ事ハ、此法案ノ精神ニハ全ク反スルノデアリマス、明文ヲ待タズシテ——明文ヲ待タズト言ヒマスカ、一百五條ナドハ其意味ヲ含シテ居リマセウ、百三十四條ノ方ハ今申シタヤウニ、訊問ト云フ事ガ全然今日トハ違フテ居ルノデアリマス、此法案ノ條文ダケデ澤山デアルト、斯ウ云フコトニ考ヘテ居リマス

○鈴木委員 趣旨ハ能ク分リマシタガ、併シ因襲ノ久シキ、今日其弊ガドウモアルノデアリマシテ、此因襲ヲ除クコトハ出來難イト思ヒマスカラ、此點ハ尙ホ訓示ナリ警告ナリヲ別ニ發シテ戴クコトガ出來レバ、大變結構ト思ヒマスカラ、ソレヲ御願致シテ置キマス、ソレカラ第二ノ質問ハ私訴デゴザイマス、私訴ノ規定ハ第五百六十九條ニ「犯罪ニ因リ身體、自由、名譽又ハ財産ヲ害セラレタル者ハ云々ト書イテアリマス、此被害者ハ間接ヲ間ハズ、總テ私訴提起ノ権利ガアルコト、私共承知シテ居リマスシ、現ニ林サンノ御著書デアリマス「刑事訴訟法論」ノ中ニモサウ云フ事が書イテアリマス、ソコデ此間接ノ被害者ト云フ者ノ範囲ガ常ニ問題ニナル、現ニ満鐵ノ私訴ノ如キモ左様デゴザイマス、私共ハ林サンノ著書ニ基イテ、間接ノ被害者モ、無論其提起ノ権利ノアルモノデアルト云フ文句ガアリマシタカラ、ソレヲ非常ニ力強ク思ウテ居リマスルシ、尙ホ板倉松太

野氏ノ著事、其他ニモ左様ナ事ガ書イテアルヤウニ記憶スル、此範圍ガ非常ニムヅカシノデアルト思ヒマスガ、是ハ矢張林サンノ著書ニ書イテアルト、同シャウナ趣意ニ諒解シテ宜シイ事デゴザイマセウカ

○林政府委員 「犯罪ニ因リ」云々ト云フコトハ、本案ニ於テ現行法ヲ改メタ趣意ハ無イノデアリマス、唯々本案デ改メマシタノハ、公訴ノ被告人ニ對シテデナケレバナラヌ、被告人以外ノ者ニ對シテハイカナイト云フ事トソレカラ現行法ハ損害ノ賠償賊物ノ返還ト云フコトニ限定シテ居リマスガ、本案ハソレヲ限定シナイ、一方ハ廣クシ、一方ハ狭クスルスウ云フ點方改メタ點デアリマンシテ、「犯罪ニ因リ」云々ト云フコトノ解釋ガ、今御話ノ如ク宜イカドヴカハ別問題デアリマスガ、其點ハ現行法ヲ改メル意味ハ無イコトヲ明言致シマス

○鈴木委員 被害者ハ、間接ノ被害者モ含ムモノト見テ差支アリマセヌカ

○林政府委員 ソコハ現行法ヲ改メナイト云フコトダケノ答ヲ致シテ置キタイト恩ヒマス

○大道寺委員 私ノ承リタイノハ澤山アリマスガ、今日ハ極ク簡単ニ一頃ダケ、未決勾留中ノ被告人待遇ノ改善ヲシタイト云フ問題ニ付テハ、常ニ考慮シテ居リマス、此刑事訴訟法ニ依リマスルト、勾留ノ方法トシテハ——條件トシテハ、或ハ召集ニ應シナイトカ、住所ガ定ラナイトカ、現行犯ノ場合、或ハ證據湮滅逃走ト云フ事ニナッテ居リマスガ、要スルニ證據湮滅逃走ガ主タル勾留ノ原因タルコトハ疑ナリ、然ルニ今日ノ勾留セラレテ居リマスルト、此證據湮滅ト逃走ヲ防ぐ目的以外ニ、非常ニ極端ニ自由ヲ拘束シテ居ルヤウナ現在ノ事實デアリマス、殆ド禁錮ノ刑ニ處セラレテ居ルト同一アル、ソレデアリマスカラ、被告人ナンカノ出テ來タノ人感想ヲ聽キマスト、寧ロ被告ヨリモ既決囚ニ入ッテシマッタ方ガ、苦痛ガ少イヤウナコトモ能ク耳ニスルコトデアリマスシ、又保釋ナゾヲ早クヤッテ貰ヒタイト云フ為ニ、當局ノ意ヲ迎ヘルヤウナ陳述ヲ——不實ノ陳述ヲシテ、時出テ來テ、後デ公判庭ニ於テ其陳述ヲ引締返シテ、本當ノ陳述ヲ爲スト云フヤウ事柄ガアルノデアリマス、此勾留中ノ態度ガ、所謂自由拘束ガ極端ニ過ギル結果トシテ、人權蹂躪問題モ起ツテ來ルノデアリマス、之ヲ改善致シマシテ、證據湮滅逃走ヲ防グト云フ以外ニ、全然此自由ヲ與ヘルト云フコトニ付テ、當局ノ御考ガソコ迄至ッテ居ラヌノデアルカ、例ヘバ監獄ニ留置シマスル獄舎ノ模様デモ、牢屋ニ入レルト云フ、所謂獄舎ニ入レナクテ、是ハ監獄ノ設備迄變ヘナケレバナラヌコトニナリマスケレドモ、或ハ敷物トカ、中ニ座ツテ居ルトカ、寢テ居ルト云フ自由等

ニ於ケル差入物等ニ付テハ、大分色々意見ガアルヤウデアリマスカ、總テサウ云フヤウナ事ヲ、モソト極端ニ自由ヲ與ヘルカ、唯タ此ニツノ目的以外ニハ、悉ク自由ヲ與ヘルト云フヤウナ方法ヲ執ルノガ至當デアラウト思フノデアリマス、シテ宜シイ事デゴザイマセウカ

○林政府委員 「犯罪ニ因リ」云々ト云フコトニナッテ、殆ド何時出シテハ御考ガ無イノデアリマスカ、此刑事訴訟法ノ本案ノ九十二條ニハ「被告人ヲ勾留シタル場合ニ於テハ其ノ身體及名譽ヲ保全スル事ニ注意スヘシ」ト云フ規定ガアルノデアリマス、是ニ満足サレルノデアルカ、尙ホモウ一步進ンデ自由ヲ與ヘル方法ハ、御考及バナインデアリマセウカ、又此百二十一條ニハ「勾留セラレタル被告人ハ法令ノ範圍内ニ於テ他人ト接見シ又ハ書類若ハ物ノ授受ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアリマス、此法令ノ範圍内ト云フノハ、現在法令ノ範圍内デアリマスカラ、所謂極端ニ制限スルコトニナント思ヒマスカ、此法令ノ範圍ヲモウ少シ緩和シテ、十分ニ自由ヲ與ヘルト云フ方法等ニ付テ、此規定ダケテ十分ナリト御考ニナツテ居ルノデアルカ、其點ヲ伺ヒタイト

○林政府委員 未決勾留ハ證據湮滅逃走ト云フヤウナ處ヲ防ぐ爲ニ、已ムヲ得ズ行フ所ノ例外ノ處分デアリマスカラ、未決勾留ノ執行中ニ於テモ、謂ハレナク他ノ自由ヲ制限スルコトノ無イノハ當然ノ事デアリマス、併ナガラ今ノ監獄ノ設備等ハ甚ダ至ラヌモノガアリマスノデ、是ハ政府デハ常ニ改善ヲ企テ居リマスガ、財政其他色々ノ關係デ、容易ニ理想通り行ハレヌト云フコトハ遺憾ニ有ジテ居ルノデアリマス、漸次設備其他ヲ改善スルコトハ努力スル積リデアリマスガ、併ナガラ今御尋ニナリマシタヤウニ、證據湮滅逃走ノ虞ヲ防ぐ以外ニ於テハ、全然自由ニスルカト云フト、ソレハドウモ行クマイト思ヒマス、鬼ニ角多數ノ者ヲ一定ノ場所ニ收容シテ置クノデアリマスカラ、一定ノ規律ト秩序ニハ服セシメナケレバナラヌ、ソレデアリマスカラ逃走ノ虞トカ、證據湮滅ノ虞ガ無イカラト云フテ、監獄デ酒ヲ飲マセルトカ、歌ヲ唄ハセルト云フコトハ出來マイト思ヒマス、唯ダ謂ハレナク制限スルト云フコトハ断ジテイカヌコトト考ヘテ居リマス

○大道寺委員 モウ、一つ承リタイ事ハ、無罪免訴ノ場合ノ賠償問題、是ハ作間君カラ既ニ御尋ニナツタ問題デアリマス、其際政府委員ノ御答ハ、考慮中デアル、研究中デアルト云フ御答ヲ得テ居リマス、ドウモ是デハ甚ダ要領ヲ得マセヌノ努力ノハ當然ノ事デアリマス、併シ何時マデニソレガ出来ルカ、又ドウ云フ事ニ定メルカト云フコトヲ、今日責任ヲ持ツテ申上ゲルコトハ甚ダ困難デアリマス、併ナガラ司法ニツノ重要ナル問題ト致シマシテ、先年來專ラ調査致シテ居リマス、色々各國ノ制度ナドモ調べ、又財政上ノ影響ナドモ色々考ヘマシテ、或ハ又實際のニ色々ノ方面カラモ研究ヲ遂ゲテ居ルノデアリマス、今日マデ成案ヲ得ルニ至リマセヌ、無論督勵ヲ致シマシテ、成ベク早ク成案ヲ得ルヤウニ是ダケハ御諒解置フ願ヒマス

○大道寺委員 最後ニ御尋致シマシタ主義ヲ認メラレルカ、ドウカト云フコトハ、無論ノ事デアリマセウト御説明ニ依ツ

テ解釋ガ出來マスガ、尙ホ明唯ニ承ッテ置キタイト思ヒマス
○林政府委員 其點モ實ハ中上ゲマスレバ、御満足ヲ得ル
ト思フノデアリマスガ、只今中上ゲタヤウニ、專ラ調査致シ
テ居リマスノデ、今日私方責任ヲ持ッテ、斯ノ如キ主義ヲ執
ルト云フコトヲ中上ゲルコトハ、立場ノ上ニ甚ダ困難デア
リマス、其點ダケハ御諒恕ヲ願フテ置マス

○鵜澤委員長 明日子後一時カラ繼續シマスガ、明日ハ小
委員ニ付託致シタイト思ヒマスカラ、原君ノ御質問ハ成ベ
ク其間ニ濟マシテ戴キタイト思ヒマス、是デ散會致シマス

午後四時二十二分散會